

Honeywell



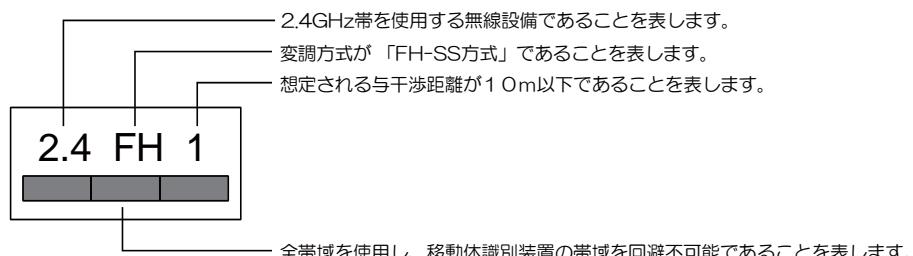
エリアイメージヤ 取扱説明書

IT1900g シリーズ
IT1902g(Bluetooth) シリーズ
7580g シリーズ

「電波について」

■ 電波に関する注意 ■

- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。
電子機器や心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各交通機関及び各医療機関の案内及び指示に従ってください。



改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	2010/06/01 (初版)
Rev.1.1	2010/09/30 4.5 頁 DOS/V キーボード インタフェイスの初期化コマンド「バーコード」を修正
Rev.1.2	2010/11/16 4.21 頁 充電専用モード、充電&無線リンクモードコマンド「バーコード」を追加
Rev.1.3	2011/02/15 5.5 頁 T:トリガ 待ち、G:ゲイシに注釈を追加
Rev.1.4	2011/03/30 4.71 頁 ISBT に関する脚注削除
Rev.1.5	2011/04/20 2.1 頁 AC アダプタ接続時の注意を追加
Rev.1.6	2011/05/25 4.56 頁 全サフィックス CR(キャリッジ リターン) コマンド「バーコード」を修正 4.57 頁 対象アリフィックス/サフィックスコマンド「バーコード」を追加 4.58 頁 データ送信シーケンスコマンド「バーコード」を修正
Rev.1.7	2011/10/25 4.41 頁 「4.8.6 携帯電話液晶読取モードの設定」の説明を修正
Rev.1.8	2011/11/14 4.41 頁 「4.8.7 イメージ スオップ & シップ の設定」のコマンド「バーコード」及び説明を修正
Rev.1.9	2012/05/21 4.34 頁 ブザー音量 ディファルト値「大」に修正
Rev.2.0	2013/07/10 4.26 頁 ディファルト値を通信圈外切り機能 オフに修正
Rev.2.1	2013/07/18 7580g に対応

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、下記の通りです。

Xenon 1900 シリーズ	弊社出荷日より 5 年間
Xenon 1902 シリーズ	弊社出荷日より 3 年間
Genesis780 シリーズ	弊社出荷日より 2 年間

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

1. 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
2. 故障の原因が納入者以外の事由に場合
3. 外装部品の損傷
4. 需要者側で改造・修理を行った場合
5. 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「FCC クラス B 適合について」

本装置は、FCC 規制のパート 15 に準拠するクラス B デジタル機器に対する制限に適合しております。これらの制限は、商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、居住地域に設置した場合、ラジオ・テレビなどへの妨害（受信障害）が起こることがあります。

「CE マークについて」

本装置に付いている CE マークは、2004/108/EC EMC に記載された EN55022:CLASS B, EN55024, EN61000-3-2, EN610003-3 規制に適合していることを示しています。また、弊社指定電源との出荷により、2006/95/EC Low Voltage Directive にも適合します。

「LED の安全性について」

EN60825-1

本装置は、IEN60825-1 LED 安全規格に従ってテストされ、クラス 1 LED 装置の制限内であることが確認されています。

「Bluetooth 無線機器について」

Bluetooth 搭載イメージは、アメリカ電気・電子通信学会(IEEE)と米国規格協会(ANSI)が作成し、連邦通信委員会(FCC)によって採用が勧告されている RF レギュレーションの安全パルについて該当する最新規格に適合するように設計されています。

承認国	仕様
日本	TELEC
中国	SRRC
韓国	RR
台湾	DTG

「修理」

修理は全てセドバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「その他」

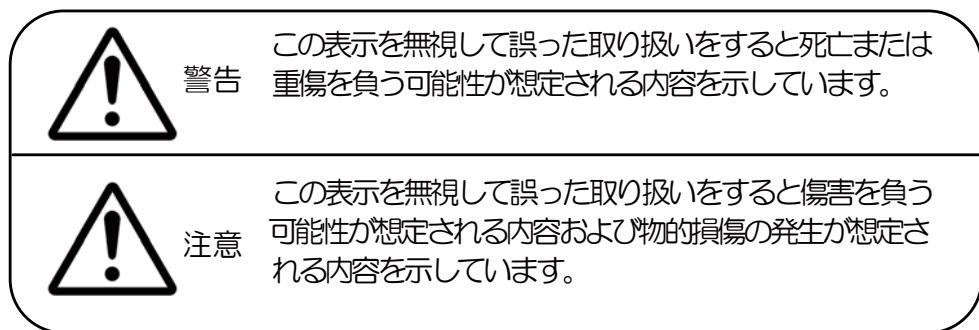
納入品の価格にはサービス費用は一切含んでおりません。

Blank page

安全上のご注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。



絵記号の意味

	<注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<禁止> 一般的な禁止を示しています。
	<発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。



警告

■本装置を絶対に分解しないで下さい。 · 故障・感電(火災)の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器など発熱物の近くでは使用しないで下さい。 · 故障・感電(火災)の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引張ったりしないで下さい。 · ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電(火災)の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。 · 火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のままで使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにしこネクタを抜いて下さい。 · 感電(火災)の原因になります。





注意

- 使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。
 - ・故障の原因になります。 
- 濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。
 - ・故障・感電の原因になります。 
- 長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。
 - ・故障の原因になります。
- 温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。
 - ・装置のケースが変形したり、故障の原因になります。
- 不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。
 - ・不用意な落下による故障やけがの原因になります。 
- 振発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。
 - ・ケースの変形や変色の原因になります。

Blank page

Index

1.	はじめに	1.1
1.1	ご使用上の注意	1.1
1.2	梱包内容の確認	1.1
1.3	ワイヤレスイメージャの LED・ビープ インディケーター	1.2
1.4	イメージャを充電する	1.3
1.5	ワイヤレスイメージャの充電池パックを交換する	1.4
2.	イメージャと PC と接続する	2.1
2.1	RS232C インターフェイスで接続する	2.1
2.2	キーボード インターフェイスで接続する	2.2
2.3	USB インターフェイスで接続する	2.3
2.5	ワイヤレスイメージャとペーステーションのリンクを確立する	2.4
3.	イメージャの読み取り操作	3.1
3.1	イメージャの読み取り操作	3.1
4.	パラメータ設定	4.1
4.1	システムコマンド	4.1
4.2	イメージャの簡単セットアップ	4.3
4.2.1	ワイヤレスイメージャの初期化	4.3
4.2.2	RS232C インターフェイスの初期化	4.4
4.2.3	DOS/V キーボード インターフェイスの初期化	4.5
4.2.4	USB キーボード インターフェイスの初期化	4.6
4.2.5	USB バーチャル COM インターフェイスの初期化	4.7
4.2.6	プリフィックス/サフィックスの初期化	4.8
4.3	ターミナル ID	4.13
4.4	キーボード インターフェイス	4.14
4.4.1	キーボード カントリーの設定	4.14
4.4.2	CAPS LOCK の設定	4.14
4.4.3	キーボード 動作モード の設定	4.15
4.5	RS232C インターフェイス	4.16
4.5.1	ポートの設定	4.16
4.5.2	データフォーマットの設定	4.17
4.5.3	RTS/CTS ハンドシェイクの設定	4.18
4.5.4	XON/XOFF ハンドシェイクの設定	4.19
4.5.5	ACK/NAK ハンドシェイクの設定	4.19
4.6	USB バーチャル COM インターフェイス	4.20
4.6.1	RTS/CTS ハンドシェイクの設定	4.20
4.6.2	ACK/NAK ハンドシェイクの設定	4.20
4.7	Bluetooth インターフェイス	4.21
4.7.1	ペーステーション接続の設定	4.21
4.7.2	FIPS 暗号化インディケーターの設定	4.22
4.7.3	自動再リンクの設定	4.23
4.7.4	通信圈外アームの設定	4.24
4.7.5	Bluetooth パワーの設定	4.25
4.7.6	通信圈外センサ機能/バッヂモード の設定	4.26
4.7.7	ワイヤレスイメージャ名の設定	4.29
4.7.8	ワークグループ番号の設定	4.31
4.7.9	SPP 接続の設定	4.32

4.7.10	ホスト ESC コマンド の設定	4.33
4.8	インデ イケータ.....	4.34
4.8.1	グッドリード ブザーの設定.....	4.34
4.8.2	エラーブザーの設定.....	4.36
4.8.3	グッドリード LED の設定.....	4.37
4.8	イメージ キャプション	4.38
4.8.1	マニュアル/シリアルトリガ モード の設定	4.38
4.8.2	パワータイムアウトの設定	4.40
4.8.3	スカンド 検知センサーの設定	4.40
4.8.4	プレゼンテーションモード の設定	4.41
4.8.5	ストリーミング プレゼンテーションモード の設定.....	4.44
4.8.6	携帯電話液晶読取モード の設定	4.44
4.8.7	CodeGate® の設定	4.45
4.8.8	イメージ スナップ & シップ の設定	4.45
4.8.9	二次元コード 読取ディレイの設定	4.45
4.8.10	同一コード 読取ディレイの設定	4.46
4.8.11	コード 読取ディレイの設定	4.47
4.8.12	照明 LED/I イヤーの設定	4.48
4.8.13	パワーダウンタイムアウトの設定	4.49
4.8.14	センタリング ウィンドウの設定	4.50
4.8.15	マルチコード 読み取りの設定	4.52
4.8.16	シンボル優先順位読み取りの設定	4.53
4.8.17	反転コード 読み取りの設定	4.55
4.9	データ送信	4.56
4.9.1	ノーリード 送信の設定	4.56
4.9.2	ファンクションコード 送信の設定	4.56
4.9.3	キャラクタ間データの設定	4.57
4.9.4	指定キャラクタデータの設定	4.58
4.9.5	ファンクション間データの設定	4.59
4.9.6	プリフィックス/サフィックスの設定	4.60
4.9.7	データ送信シーケンスの設定	4.62
4.10	リニアシンボル(バーコード)の読み取り設定	4.64
4.10.1	コードバーコード(NW7)の設定	4.64
4.10.2	コード39 の設定	4.66
4.10.3	インターバルコード 2/5 の設定	4.68
4.10.4	NEC 2/5 の設定	4.69
4.10.5	コード93 の設定	4.70
4.10.6	ストレート2/5 の設定	4.71
4.10.7	IATA 2/5 の設定	4.72
4.10.8	マトリクス2/5 の設定	4.73
4.10.9	コード11 の設定	4.74
4.10.10	コード128 の設定	4.75
4.10.11	GS1-128 の設定	4.76
4.10.12	Telepen の設定	4.77
4.10.13	UPC-A の設定	4.78
4.10.14	UPC-E の設定	4.80
4.10.15	EAN/JAN-13 の設定	4.82
4.10.16	EAN/JAN-8 の設定	4.84
4.10.17	MSI の設定	4.85

4.10.18	GS1 Databar Omnidirectional の設定.....	4.87
4.10.19	GS1 Databar Limited の設定.....	4.87
4.10.20	GS1 Databar Expanded の設定	4.88
4.10.21	GS1 エミュレーションの設定	4.89
4.11	スタックシンボルの読み取り設定.....	4.90
4.11.1	Trioptic コード の設定	4.90
4.11.2	コード ブロック A の設定.....	4.91
4.11.3	コード ブロック F の設定	4.92
4.11.4	PDF417 の設定	4.93
4.11.5	マイクロ PDF417 の設定	4.94
4.11.6	GS1 コード セットの設定.....	4.95
4.11.7	TLC39 の設定	4.96
4.12	マトリクスシンボルの読み取り設定.....	4.97
4.12.1	QR/マイクロ QR の設定	4.97
4.12.2	データマトリクスの設定	4.98
4.12.3	マキシコード の設定.....	4.99
4.12.4	Aztec の設定	4.100
4.13	郵便シンボルの読み取り設定.....	4.101
4.13.1	2D 郵便シンボルの設定	4.101
4.13.2	中国郵便コード の設定.....	4.102
4.13.3	韓国郵便コード の設定.....	4.103
5.	シリアルコマンド	5.1
5.1	メニュー コマンド	5.1
5.2	シリアルリガード コマンド	5.3
5.3	イメージ ソグ コマンド	5.3
5.4	イメージ ソグ ディフォルトコマンド	5.18
A.1	コード ID 表	A.1
A.2	キーボード コード 対応表.....	A.2
A.3	ASCII コード 表	A.3
A.4	メソテナス	A.4
A.5	トラブルシューティング	A.5
A.6	サップルコード	A.6
	修理依頼書.....	A.9

Blank page

1. はじめに

この度は、Honeywell 社製エリアイメージャ(以下、イメージャ)をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この説明書は、Honeywell 社のイメージャの基本的な使用方法と設定方法について説明しております。ご使用になられる前に必ずお読みください。

1.1 ご使用上の注意

本装置は精密な電子部品で構成されていますので、絶対に分解しないでください。本装置が万一故障した場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

1.2 梱包内容の確認

本装置の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

(梱包内容)

ケーブル式イメージャ

- ◆ イメージャ本体(指定インターフェイスケーブル付)-----1 台
- ◆ インターフェイスケーブル-----1 本
- ◆ AC アダプタ-----1 個 (*1)
- ◆ 簡易取扱説明書 -----1 冊

(*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

ワイヤレス式イメージャ

- ◆ イメージャ本体 -----1 台
- ◆ 充電池パック -----1 個
- ◆ AC アダプタ-----1 個 (*1)
- ◆ 簡易取扱説明書 -----1 冊

(*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

ワイヤレス式イメージャ用ペーステーション又はアクセスポイント

- ◆ ペーステーション又はアクセスポイント-----1 台
- ◆ インターフェイスケーブル-----1 本
- ◆ AC アダプタ-----1 個 (*1)

(*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

梱包箱は、修理などで製品を返送する場合、輸送時の損傷を避けるために必要となります。大切に保管してください。

1.3 ワイヤレスイメージャの LED・ビーブイソーディケータ

ワイヤレスイメージャ及びバーステーションは、カメラに入力された情報を示すための LED 及びビーブイソーディケータを搭載しており、それぞれ下記の動作を意味します。

ワイヤレスイメージャの LED・ビーブイ		
LED	ビーブイ	意味
通常動作		
赤色 点滅	無し	電池残量が少ない
緑色 点滅	1回ビーブイ	通信成功又はリセット成功
赤色 点滅	低音ビーブイ/エラービーブイ	通信失敗
設定メニュー/コード読み取り		
緑色 点滅	2回ビーブイ	設定成功
赤色 点滅	低音ビーブイ/エラービーブイ	設定失敗

バーステーションの充電ステータス LED	
LED	意味
緑色 点灯	80%以上 充電済み
緑色 低速点滅 1秒毎 ON/OFF	30% ~ 80% 充電済み
緑色 高速点滅 300ミリ秒毎 ON/OFF	30%未満 充電済み

バーステーションのシステムステータス LED	
LED	意味
赤色 点灯	電源 ON、待機中
赤色 低速点滅	電源 ON、自己診断エラー
赤色 高速点滅	無線通信・校正通信中
赤色 1回点滅 約 30 秒毎に発生	Bluetooth 無線ステータス診断

1.4 イメージャを充電する

ワイヤレスイメージャは、専用リチウムイオン充電池パック(容量 1,800mAh)を採用しています。この充電池パックは、フル充電状態で約 14 時間(50,000 スキャン)¹の動作が可能です。

ワイヤレスイメージャをベースステーションに置くと、充電が自動的に行われます。充電が行われている間、ベースステーションの充電インジケータ LED が緑色に点滅し、完了すると、常時点灯に変わります。充電時間は約 4.5~5 時間です。

✓ ベースステーションの電源を USB インタフェイスケーブルやキーボード インタフェイスケーブル経由で PC から供給している場合は、通常より長い充電時間が必要になります。専用 AC アダプタの接続をお勧めします。

充電池の寿命

充電池の特性上、十分な充電を行っても使用できる時間が短くなった時が交換の目安となります。**必ず、専用リチウムイオン充電池パック(1000000495)をお求めください。**

安全に、より長く充電池パックをご使用いただくために

- 充電池パックは、30%~60%程度充電された状態で出荷されています。ご購入後、最初に約 5 時間 充電池パックを充電してください。
- 充電は、5~40°C の環境で行ってください。
- 長期間使用しない場合は、液漏れの危険があるため、充電池パックを取り外して保管してください。
- 次頁の  危険・警告・注意をお読みの上、正しくお使いください。

充電池パック・充電器の注意

ワイヤレスイメージャで指定されている専用の充電池パック及び充電器を必ずご使用ください。液漏れ・発熱・破裂の恐れがあり、大変危険です。以下の事項を必ずお守りください。

危険

- 専用充電器以外では充電しない。
- ハサワ付けるや分解・改造・変形をしない。
- 火中投入、加熱ショットしない。
- 液漏れした駆が目に入った時は、失明の恐れがありますので、こすらずにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

警告

- +- (プラス/マイナス)を正しく入れる。
- +- (プラス/マイナス)を金属物に接触させない。また、金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり保管しない。
- 外装チューブをはがしたり傷つけない。
- 液漏れした液が手や衣服に付いた時は直ちにきれいな水で洗い流すこと。
- 液漏れや変色、変形に気づいたときは使用しない。
- 乳幼児の手の届かない所へ保管する。万が一飲み込んだ場合は、すぐに医者に相談する。

¹ 動作時間・スキャン数は目安です。運用状況、周囲環境により異なりますので、ご注意ください。

⚠ 注意

- 強い衝撃を与えたる、投げつけない。
- 水に濡らさない。
- 充電した電池と放電した電池を混用しない。
- 新旧の電池を混用して使用しない。
- 使用しない時は、機器から取り外す。
- 専用の充電池及び充電器以外は使用しない。

充電池の廃棄について

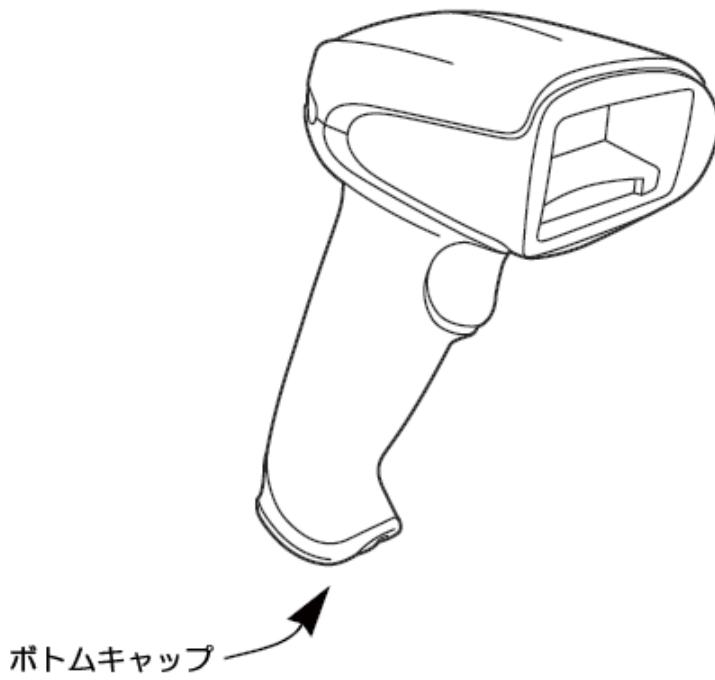
使用済みの充電池は「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の電気店またはスバルなどに設置されているリサイクルボックスに入れてください。



1.5 ワイヤレスイメージヤの充電池パックを交換する

下記の手順に従って、充電池パックの交換を行ってください。

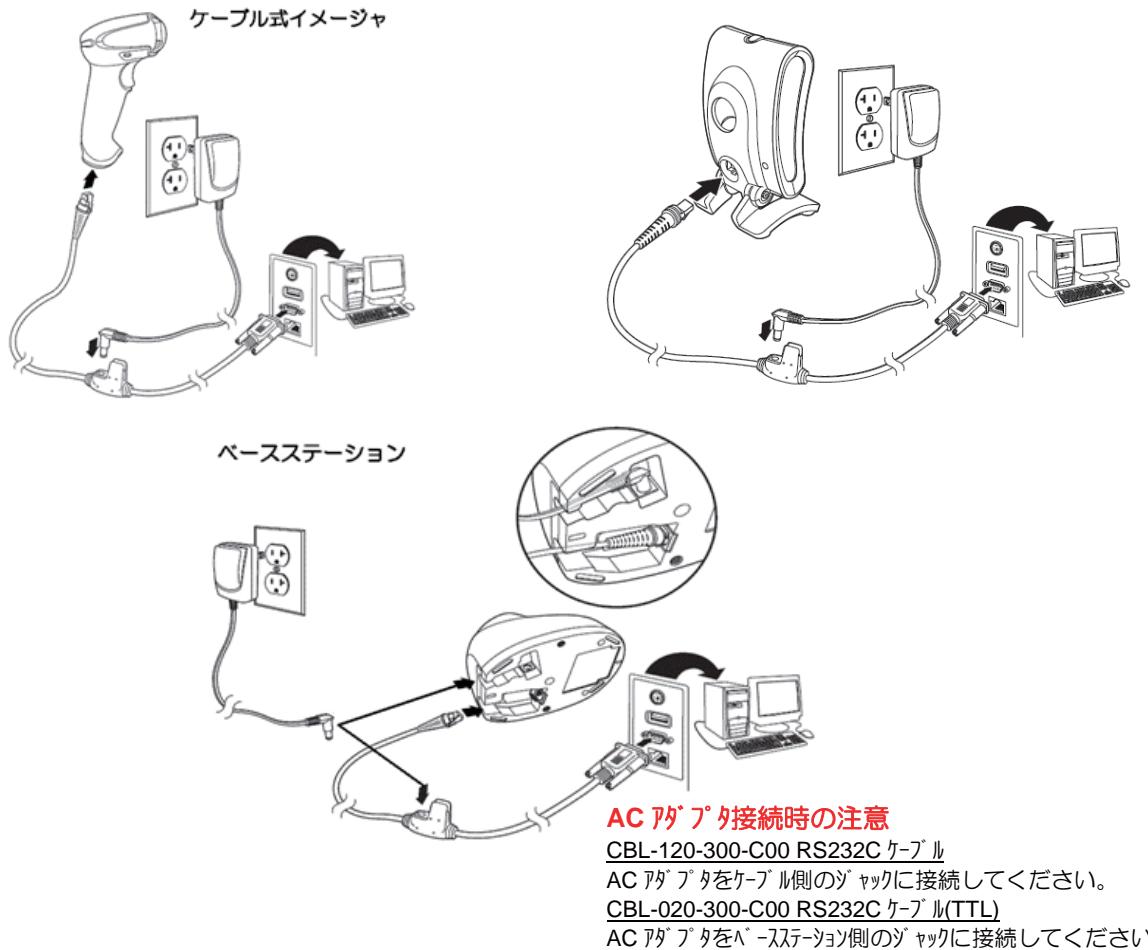
1. イメージヤのボトムキャップにある栓を緩めます。
2. ハンドル部分から充電池パックを取り外します。
3. 新しい充電池パックをハンドル部分にセットします。
4. ボトムキャップを元に戻し、栓を締めれば完了です。



2. イメージャとPCと接続する

2.1 RS232C インターフェイスで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。

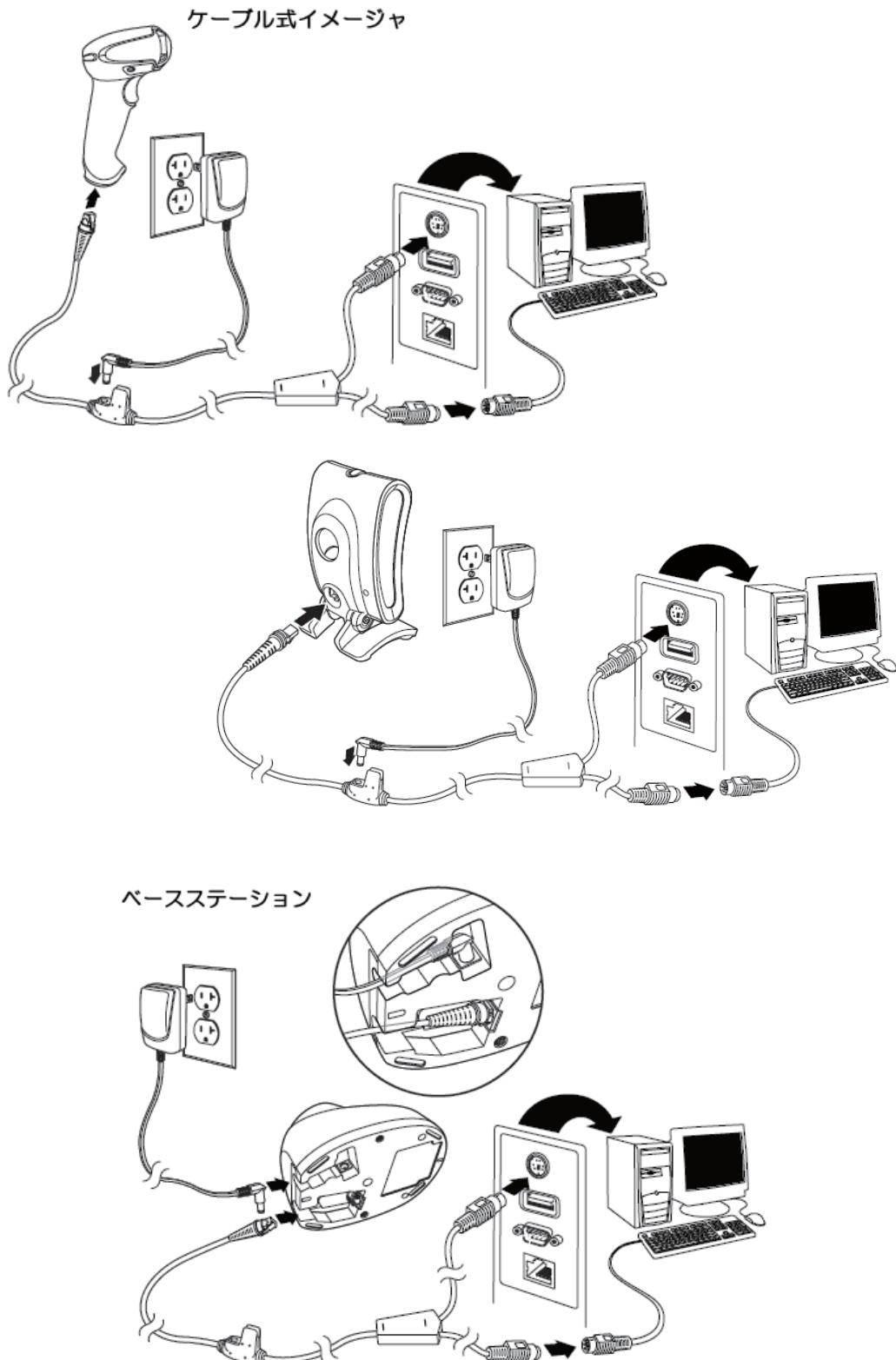


下記に RS232C インターフェイスケーブルのピン配列を示します。

RS232C インターフェイスケーブル ピン配列	
D-Sub9 メスコネクタ	
ピン番号	信号名
1	シールド
2	TxD
3	RxD
4	N/C
5	GND
6	N/C
7	CTS
8	RTS
9	イメージャ電源 DC5V

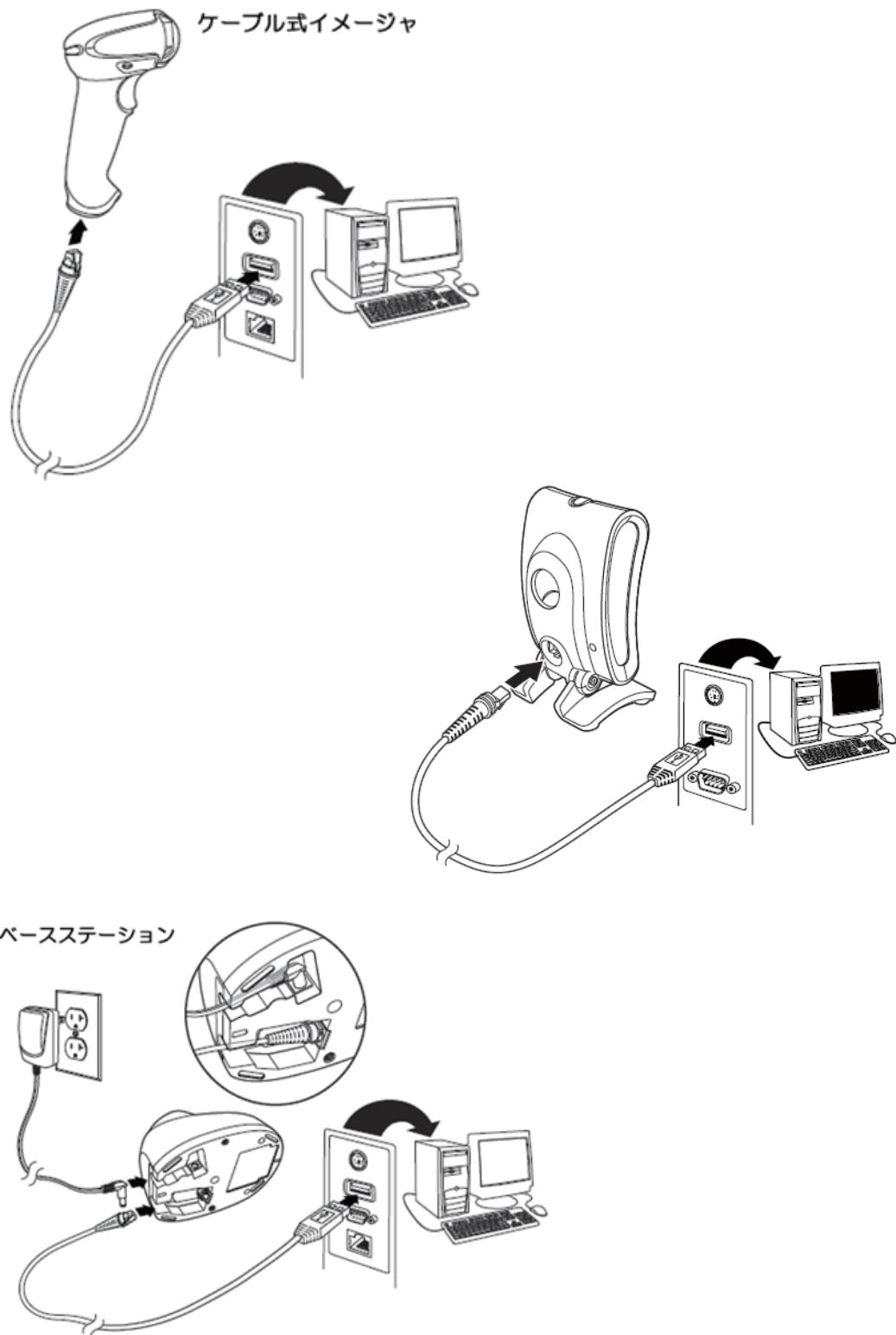
2.2 キーボードインターフェイスで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。



2.3 USB インターフェイスで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。



✓USB バーチャル COM ドライバ のインストール方法は、製品に添付の簡易説明書及び別冊の「USB-COM ドライバ インストール手順」を参照ください。

2.5 ワイヤレスイメージヤとバーステーションのリンクを確立する

ご購入されたワイヤレスイメージヤは、初期状態では、バーステーションとのリンクが確立していないません。下記の手順に従って、リンクの確立を行ってください。

1. 前ページまでを参照して、PC とバーステーションを正しく接続します。
2. ワイヤレスイメージヤをバーステーションにセットします。ピロードというビープ音が鳴った後、リンク試行が始まります。ブップブップブップ.....ピロード(ワイヤレスイメージヤの緑色 LED も瞬時点灯)というビープ音が鳴れば、リンクは成功です。



3. リンクが始まらない場合は、下記のコマンド バーコードをスキヤツして、再度、イメージヤをバーステーションにセットしてみてください。



✓バーステーションとのリンクが確立していない場合

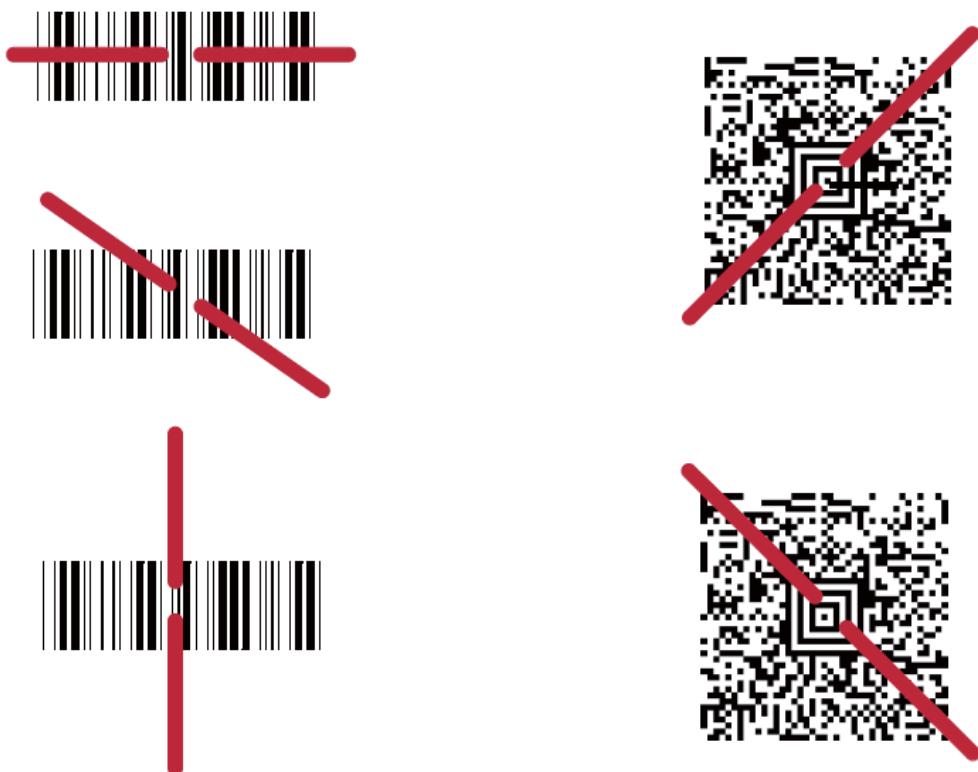
1. トリガボタンを押すと、ブッというビープ音が鳴ります。
2. バーコードをスキヤツすると、ブーブーブーというビープ音が鳴り、同時に赤色 LED が 3 回点滅します。

3. イメージャの読み取り操作

本章ではイメージャの読み取り操作について説明します。

3.1 イメージャの読み取り操作

イメージャでバーコード及び二次元コードを読み取る場合、下図に示す様にエリアイメージャのイミングビーム(赤色又は緑色の LED ビーム)が目的のコードのセンターになるように照射します。エリアイメージャは、360° 読み取りが可能なため、読み取り易い方向にイミングビームを照射することができます。



Blank page

4. パラメータ設定

イメージヤのパラメータは本章に記載する専用コマンドバーコードを使って設定します。

パラメータ設定を始める前に、PCとイメージヤを正しく接続し、バーコードの読み取りが行える状態にしてください。

コマンドバーコード表の使い方

コマンドバーコード このバーコードをスキャンすると、説明欄にあるパラメータ設定が行えます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンドバーコード</th><th>説明</th><th>ディフォルト</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>CAPS LOCKオフ 通常 CAPS LOCK オフでノビューボタンを使用します。</td><td>■</td></tr> <tr> <td></td><td>CAPS LOCKオン 通常 CAPS LOCK オンでノビューボタンを使用します。</td><td>□</td></tr> <tr> <td></td><td>CAPS LOCK自動変換 CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK ランプ LED を搭載した PC-AT, PS/2 のみ有効です。</td><td></td></tr> </tbody> </table>	コマンドバーコード	説明	ディフォルト		CAPS LOCKオフ 通常 CAPS LOCK オフでノビューボタンを使用します。	■		CAPS LOCKオン 通常 CAPS LOCK オンでノビューボタンを使用します。	□		CAPS LOCK自動変換 CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK ランプ LED を搭載した PC-AT, PS/2 のみ有効です。		ディフォルト ワイヤレスイメージヤのディフォルト設定値を意味します。ユーザーの設定値を書き込む欄としても利用できます。
コマンドバーコード	説明	ディフォルト												
	CAPS LOCKオフ 通常 CAPS LOCK オフでノビューボタンを使用します。	■												
	CAPS LOCKオン 通常 CAPS LOCK オンでノビューボタンを使用します。	□												
	CAPS LOCK自動変換 CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK ランプ LED を搭載した PC-AT, PS/2 のみ有効です。													

4.1 システムコマンド

コマンドバーコード	説明
 全ディフォルト ~ D E F O V R .	パラメータ設定値を工場出荷時のディフォルト設定値に戻します。ワイヤレスイメージヤの場合は、ペーステーションとの接続を再度確立させてください。 ↓ カスタムディフォルト設定 ~ M N U C D F .
 カスタムディフォルト ~ D E F A L T .	カスタムディフォルトを設定します。設定したい項目のコマンドバーコードをスキャンする前に左記のコマンドバーコードをスキャンします。
 テコーグリビジョン表示 ~ R E V _ D R .	カスタムディフォルト設定値に戻します。ワイヤレスイメージヤの場合は、ペーステーションとの接続を再度確立させてください。
 スキャンドライバリビジョン表示 ~ R E V _ S D .	テコーグリビジョンを出力します。 スキャンドライバリビジョンを出力します。

 ~ D F M B K 3 ? .	データフォーマット設定表示 現在のデータフォーマット設定を出力します。
TotalFreedom コマンド	
 ~ P L G I P E 1 .	イメージリンクアクション有効 イメージリンクアクションを有効にします。
 ~ P L G I P E 0 .	イメージリンクアクション無効 イメージリンクアクションを無効にします。
 ~ P L G D C E 1 .	データコードリンクアクション有効 ホスト番号、ワークループ、イメージ名、アドレスなどの情報を出力します。
 ~ P L G D C E 0 .	データコードリンクアクション無効 ホスト番号、ワークループ、イメージ名、アドレスなどの情報を出力します。
 ~ P L G F O E 1 .	フォーマッティングアクション有効 ホスト番号、ワークループ、イメージ名、アドレスなどの情報を出力します。
 ~ P L G F O E 0 .	フォーマッティングアクション無効 ホスト番号、ワークループ、イメージ名、アドレスなどの情報を出力します。
 ~ P L G I N F .	アクリションリスト アクリションリストを出力します。

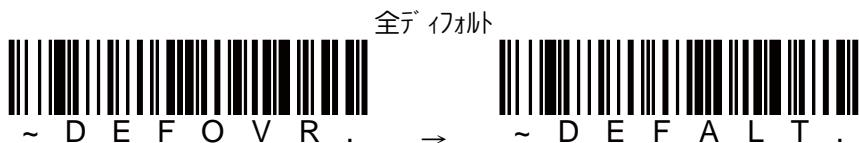
✓TotalFreedom コマンド の設定を有効にするため、イメージヤをリセットしてください。

4.2 イメージャの簡単セットアップ

4.2.1 ワイヤレスイメージャの初期化

最初にワイヤレスイメージャとベースステーションのパラメータ設定値を工場出荷時の初期状態にリセットして、リンクを確立させます。リンクが確立すれば、各インターフェイスの初期化に進んでください。

1. PC とベースステーションを正しく接続します。
2. 下記の「全ディフォルト」コマンドバーコードを左から順にスキャンします。



3. ワイヤレスイメージャをベースステーションにセットします。ビロードというビープ音が鳴った後、リンク試行が始まります。ビップビップビップビップビップビ...ビコ(ワイヤレスイメージャの緑色LEDも瞬時点灯)というビープ音が鳴れば、リンクは成功です。



4. リンクが始まらない場合は、下記のコマンドバーコードをスキャンして、再度、イメージャをベースステーションにセットしてみてください。



パラメータ設定値を工場出荷時にリセットする必要が無い場合は、「全ディフォルト」コマンドバーコードをスキャンせず、リンクの確立のみを行い、各インターフェイスの初期化に進んでください。

✓ベースステーションとのリンクが確立していない場合

1. トリガボタンを押すと、ブッというビープ音が鳴ります。
2. バーコードをスキャンすると、ブーブーブーというビープ音が鳴り、同時に赤色LEDが3回点滅します。

4.2.2 RS232C インターフェイスの初期化

PC とイメージャ又はペーステーションを RS232C インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番に入力してください

 ~ T E R M I D .	ターミナル ID 設定開始
 ~ K 0 K	RS232C インターフェイス
 ~ K 0 K	
 ~ 2 3 2 B A D 5 .	
 ~ 2 3 2 W R D 2 .	9600/8/N/1

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源を切りし、再立ち上げを行ってください。

4.2.3 DOS/V キーボード インタフェイスの初期化

PC とイメージャ又はバーステーションを DOS/V キーボード インタフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキャンしてください(デスクトップ PC)

 ~ P A P _ A T .	PC AT キーボード デスクトップ PC データ+インターフェイ
 ~ K B D C T Y 2 8 .	日本語キーボード

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源をオフにし、再立ち上げを行ってください。

上から順番にスキャンしてください(ノート PC)

 ~ P A P L T D .	PC AT キーボード ノート PC 外付けキーボード無し データ+インターフェイ
 ~ K B D C T Y 2 8 .	日本語キーボード

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源をオフにし、再立ち上げを行ってください。

4.2.4 USB キーボード インタフェイスの初期化

PC とイメージャ又はバーステーションを USB インタフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番に入力してください

 ~ T E R M I D .	ターミナル ID 設定開始
 ~ K 1 K	
 ~ K 3 K	USB キーボード インタフェイス
 ~ K 4 K	

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源をオフにし、再立ち上げを行ってください。

4.2.5 USB バーチャル COM インターフェイスの初期化

PC とイメージヤ又はペーステーションを USB インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキップしてください

 ~ T E R M I D .	ターミナル ID 設定開始
 ~ K 1 K	
 ~ K 3 K	USB バーチャル COM インターフェイス
 ~ K 0 K	

※ 設定完了後、イメージヤ及び PC の電源をオフにし、再立ち上げを行ってください。

4.2.6 プリフィックス/サフィックスの初期化

プリフィックスは読み取ったデータの前に付加される固定データ、サフィックスは読み取ったバーコードの後ろに付加される固定データを意味します。それぞれ 11 文字までの任意のキャラクタを設定できます。

プリフィックス (max.11 文字)	読み取データ	サフィックス (max.11 文字)
------------------------	--------	-----------------------

デフォルトは、プリフィックス 無し・サフィックス 無しです。変更が必要な場合は、下記から希望する初期化メニューを上から順番に読み取ってください。

また、任意の文字列を設定したい場合は、「4.9.6 プリフィックス/サフィックスの設定」を参照ください。

プリフィックス 無し/サフィックス 無し

上から順番にスキヤツしてください

	全プリフィックス クリア
	全サフィックス クリア

プリフィックス 無し/サフィックス CR(インターキー)

上から順番にスキヤツしてください

	全プリフィックス クリア
	全サフィックス CR(インターキー)

プリフィックス 無し/サフィックス エンターキー(テンキー)

上から順番に入力をしてください

	全プリフィックス クリア ~ P R E C A 2 .
	サフィックス設定開始 ~ S U F B K 2 .
	全シンボル ~ K 9 K
	
	エンターキー(テンキー) ~ K 0 K
	サフィックス設定終了 ~ M N U S A V .

プリフィックス 無し/サフィックス TABキー

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全ソボル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	TABキー
 ~ K 9 K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

プリフィックス 無し/サフィックス CR/LF

上から順番に入力してください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シボル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	CR
 ~ K D K	
 ~ K 0 K	LF
 ~ K A K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

プリフィックス STX/サフィックス ETX

上から順番に入力してください

 ~ P R E B K 2 .	プリフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シボル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	STX
 ~ K 2 K	
 ~ M N U S A V .	プリフィックス設定終了
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シボル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	ETX
 ~ K 3 K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

4.3 ターミナル ID

イメージャをお使いになる PC に合うインターフェイスに初期化します。下記の表からお使いになる PC(インターフェイズ)に合う 3 行のターミナル ID を確認してください。
出荷時の設定は、ご購入されたインターフェイスタイプにより異なります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	<u>ターミナル ID 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から 3 行のターミナル ID をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
数値バーコード表		
	0	
	2	
	4	
	6	
	8	
	確定	
破棄		

インターフェイス/ターミナル(PC)	ターミナル ID
IBM PC AT 互換 101/104 キーボード	003
IBM DOSV106/109 日本語キーボード	102(未対応)
USB 106/109 日本語キーボード	134
USB PC キーボード	124
USB MAC キーボード	125
USB HID POS	131
USB バーチャル COM インターフェイス	130
RS232 インターフェイス	000
シリアルウェッジ インターフェイス	050
ワンド エミュレーション(コード 39 フォーマット)	061
ワンド エミュレーション	064
本書では、代表的なターミナル ID のみを掲載しています。ご使用になるターミナル(PC)が未掲載の場合は、お手数ですが弊社までご連絡をお願いします。	

4.4 キーボード インタフェイス

4.4.1 キーボード カントリーの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D C T Y 0 .	USA	■
 ~ K B D C T Y 2 8 .	日本	

4.4.2 CAPS LOCK の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D S T Y 0 .	<u>CAPS LOCK オン</u> 通常 CAPS LOCK オンで PC を使用します。	■
 ~ K B D S T Y 1 .	<u>CAPS LOCK オフ</u> 通常 CAPS LOCK オフで PC を使用します。	
 ~ K B D S T Y 2 .	<u>SHIFT LOCK オン</u> 通常 SHIFT LOCK オンで PC を使用します。	
 ~ K B D S T Y 6 .	<u>CAPS LOCK 自動検出</u> CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK ステータス LED を搭載した PC-AT, PS/2 のみ有効です。	

4.4.3 キーボード動作モードの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D S T Y 5 .	外付けキーボードエミュレーション ノートPCで外付けキーボードを接続しない場合に設定します。 <u>設定後、必ずノートPCの電源を再立ち上げしてください。</u>	
 ~ K B D N P S 1 .	テクキモード オン 数字データをテクキ入力として送信します。	
 ~ K B D N P S 0 .	テクキモード オフ 数字データをフルキーボード入力として送信します。	■
 ~ K B D C N V 0 .	大文字/小文字変換送信 オフ	
 ~ K B D C N V 1 .	大文字変換送信 オン	
 ~ K B D C N V 2 .	小文字変換送信 オン	
 ~ K B D C A S 1 .	CTRL+ASCII入力 オン CTRL+ASCII入力をオフにします。 実際送信されるキーセットは、本書「A.2 キーボードコード対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D C A S 0 .	CTRL+ASCII入力 オフ CTRL+ASCII入力をオフにします。	
 ~ K B D T M D 1 .	ファンクションコード送信 オン ファンクションコード送信をオフにします。 実際送信されるキーセットは、本書「A.2 キーボードコード対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D T M D 0 .	ファンクションコード送信 オフ ファンクションコード送信をオフにします。	

4.5 RS232C インターフェイス

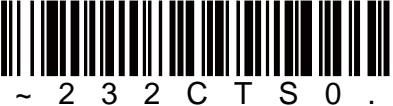
4.5.1 ポートレートの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 B A D 0 .	300bps	
 ~ 2 3 2 B A D 1 .	600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 2 .	1,200bps	
 ~ 2 3 2 B A D 3 .	2,400bps	
 ~ 2 3 2 B A D 4 .	4,800bps	
 ~ 2 3 2 B A D 5 .	9.600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 6 .	19,200bps	
 ~ 2 3 2 B A D 7 .	38,400bps	
 ~ 2 3 2 B A D 8 .	57,600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 9 .	115,200bps	■

4.5.2 データフォーマットの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 W R D 3 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 0 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 無し	
 ~ 2 3 2 W R D 6 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 奇数	
 ~ 2 3 2 W R D 4 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 1 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 無し	
 ~ 2 3 2 W R D 7 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 奇数	
 ~ 2 3 2 W R D 5 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 2 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 無し	■
 ~ 2 3 2 W R D 8 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 奇数	

4.5.3 RTS/CTS ハンドシェイクの設定

コマンドバー-コード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 C T S 1 .	RTS/CTS ハンドシェイク オン (タイムアウト無し)	
 ~ 2 3 2 C T S 3 .	RTS/CTS ハンドシェイク オン (タイムアウト有り)	
 ~ 2 3 2 C T S 0 .	RTS/CTS ハンドシェイク オフ	■
 ~ 2 3 2 D E L .	RTS/CTS ハンドシェイクタイムアウト 左記のコマンドバー-コードをスキャンし、続けて「数値バー-コード表」から設定したい値を1~5100の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー-コードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	
数値バー-コード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定
		破棄

4.5.4 XON/XOFF ハンドシェイクの設定

コマンド ハードコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 X O N 1 .	XON/XOFF ハンドシェイク オン	
 ~ 2 3 2 X O N 0 .	XON/XOFF ハンドシェイク オフ	■
 ~ 2 3 2 A C K 1 .	ACK/NAK ハンドシェイク オン	
 ~ 2 3 2 A C K 0 .	ACK/NAK ハンドシェイク オフ	■

4.5.5 ACK/NAK ハンドシェイクの設定

コマンド ハードコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 A C K 1 .	ACK/NAK ハンドシェイク オン	
 ~ 2 3 2 A C K 0 .	ACK/NAK ハンドシェイク オフ	■

4.6 USB バーチャル COM インタフェイス

4.6.1 RTS/CTS ハンドシェイクの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ U S B C T S 1 .	RTS/CTS ハンドシェイク オン	
 ~ U S B C T S 0 .	RTS/CTS ハンドシェイク オフ	■

4.6.2 ACK/NAK ハンドシェイクの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ U S B A C K 1 .	ACK/NAK ハンドシェイク オン	
 ~ U S B A C K 0 .	ACK/NAK ハンドシェイク オフ	■

4.7 Bluetooth インターフェイス

4.7.1 バーステーション接続の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ R E S E T .	ワイヤレスイメージャリセット ワイヤレスイメージャをリセットします。	
 ~ B T _ R M V .	リンク解除 ワイヤレスイメージャとバーステーションのリンクを解除します。	
 ~ B A S L N K 0 .	充電専用モード バーステーションの無線をオフにします。	
 ~ B A S L N K 1 .	充電&無線リンクモード バーステーションの無線をオフにします。	
 ~ B A S C O N 0 , D N G 1 .	ロックリンクモード(シングルイメージヤ) ロックリンクモードに設定します。1つのバーステーションに1台のワイヤレスイメージャを接続できます。但し、オーブソリリンクモードと異なり、新しいワイヤレスイメージャをバーステーションにセットしても、リンクが新たに確立されることはできません。	■
 ~ B A S C O N 1 , D N G 1 .	オーブソリリンクモード(シングルイメージヤ) オーブソリリンクモードに設定します。1つのバーステーションに1台のワイヤレスイメージャを接続できます。 <u>ロックリンクモードと異なり、新しいイメージヤをバーステーションにセットすると、そのイメージヤとリンクが新たに確立されます。</u>	
 ~ B T _ R P L 1 .	強制再リンク(ロックリンクモード) ロックリンクモードで、強制的に新しいワイヤレスイメージャとリンクを確立します。	
 ~ B A S C O N 2 , D N G 3 .	マルチリンクモード マルチリンクモードに設定します。1つのバーステーションで最大7台のワイヤレスイメージャとリンクすることができます。	

4.7.2 FIPS 暗号化インデ イケータの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ F P S L E D 1 .	ワイヤレスイメージャインデ イケータ オン	■
 ~ F P S L E D 0 .	ワイヤレスイメージャインデ イケータ オフ	

正常インデ イケータ：橙色 LED
FIPS セキュリティが正常に動作し、ワイヤレスイメージャとベースステーション間の通信が暗号化されている場合、トリガ を引くと点灯します。また、これには、ワイヤレスイメージャとベースステーションに正常に FIPS リフトウェアがロードされたという意味もあります。

エラーインデ イケータ：赤色 LED
FIPS セキュリティが正常に動作しておらず、ワイヤレスイメージャとベースステーション間の通信が暗号化されていない場合、トリガ を引くと点灯します。また、これには、ワイヤレスイメージャには、FIPS リフトウェアが正常にロードされたが、ベースステーションには、ロードされていないという意味もあります。

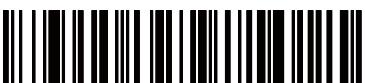
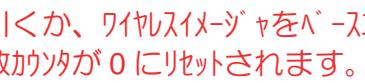
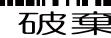
エラーインデ イケータ：セキュリティ警告ビーピー
ワイヤレスイメージャとベースステーション間の通信が暗号化されていない場合、データを読み取った後、グッドリードビーピーに続いて、ショートビーピー 2 回が 1 分間の休止毎に鳴動します。また、これには、ワイヤレスイメージャには、FIPS リフトウェアが正常にロードされたが、ベースステーションには、ロードされていないという意味もあります。

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ F P S B E P 1 .	ベースステーションインデ イケータ オン	■
 ~ F P S B E P 0 .	ベースステーションインデ イケータ オフ	

正常インデ イケータ：高音ショートビーピー & 赤色 LED
ワイヤレスイメージャとベースステーション間の通信が暗号化されている場合、データを読み取った後、高音ショートビーピーが鳴動し、赤色 LED が点滅します。また、これには、ワイヤレスイメージャとベースステーションに正常に FIPS リフトウェアがロードされたという意味もあります。

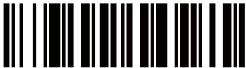
エラーインデ イケータ：セキュリティ警告ビーピー
ワイヤレスイメージャとベースステーション間の通信が暗号化されていない場合、データを読み取った後、ショートビーピー 2 回が鳴動し、赤色 LED が点滅します。また、これには、ワイヤレスイメージャには、FIPS リフトウェアが正常にロードされたが、ベースステーションには、ロードされていないという意味もあります。

4.7.3 自動再リソクの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B T _ A C M 1 .	自動再リソク オン	■
 ~ B T _ A C M 0 .	自動再リソク オフ	
 ~ B T _ M L A .	最大リソク試行回数 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~100の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ B T _ R L T .	再リソクタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を1~100の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 設定単位は、秒です。	3
数値バーコード表		
		0
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8
		9
		確定

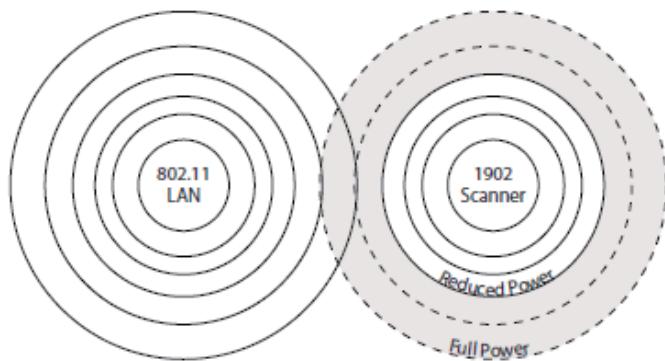
- ✓ 最大リソク試行回数内に再リソクが確立できなかった場合、ワイヤレスイメージャは再リソク試行を中止します。再度、再リソクを試行したい場合は、ワイヤレスイメージャのトリガを引くか、ワイヤレスイメージャをバースコニットにセットします。これにより、最大リソク試行回数カウントが0にリセットされます。
- ✓ 最大リソク試行回数を0に設定した場合は、パワータイムアウト(「4.8.2 パワータイムアウトの設定」を参照)で設定された時間が適用されます。
- ✓ 再リソクタイムアウトは、再リソクを試行する間隔を意味します。

4.7.4 通信圧外アラームの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B A S O R D .	ベースライン通信圧外アラーム時間 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を0~3,000の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、秒です。	0(無し)
 ~ B T _ O R D .	ワイヤレスイメージ通信圧外アラーム時間 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を0~3,000の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、秒です。	0(無し)
 ~ B A S O R W .	ベースライン通信圧外アラームタイプ 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を0~7の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ B T _ O R W .	ワイヤレスイメージ通信圧外アラームタイプ 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を0~7の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.7.5 Bluetooth パワーノの設定

既存の無線ネットワークとの干渉を回避するため、ワイヤレスイメージヤのBluetoothパワーを調整することができます。



コマンドバーコード	説明	デフォルト
~ B T _ T X P 1 0 0 .	Bluetooth パワー 100% 2.5mW, 4dBm	■
~ B T _ T X P 3 5 .	Bluetooth パワー 35% 0.875mW, 0dBm	
~ B T _ T X P 5 .	Bluetooth パワー 5% 0.125mW, -9dBm	
~ B T _ T X P 1 .	Bluetooth パワー 1% 0.025mW, -16dBm	
~ R E S E T _ .	ワイヤレスイメージヤリセット	
: * : R E S E T _ .	ペースステーションリセット	

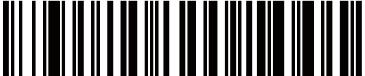
✓Bluetooth パワーノの設定を変更した場合は、必ずワイヤレスイメージヤ及びペースステーションのリセットを行ってください。

4.7.6 通信圏外メモリ機能/バッчモードの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ B A T E N A 1 .	通信圏外メモリ機能 オン ワイヤレスイメージャが通信圏外で読み取ったデータをフラッシュメモリにメモリします。メモリされた読み取データは、ワイヤレスイメージャが通信圏内に戻った時点で、自動送信されます。	
 ~ B A T E N A 0 .	通信圏外メモリ機能 オフ ワイヤレスイメージャが通信圏外で読み取ったデータは保存されません。	■
 ~ B A T E A N 2 .	バッчモード オン ワイヤレスイメージャは通信圏内・圏外に関係なく、読み取ったデータをフラッシュメモリにメモリします。メモリされた読み取データは、ワイヤレスイメージャをペースティングにセットするか、「メモリデータ送信」コマンド バードが実行すると、送信されます。	
 ~ B A T D L Y 0 .	メモリデータ送信ディレイ 0 (無し)	■
 ~ B A T D L Y 250 .	メモリデータ送信ディレイ 250 ミリ秒	
 ~ B A T D L Y 500 .	メモリデータ送信ディレイ 500 ミリ秒	
 ~ B A T D L Y 1000 .	メモリデータ送信ディレイ 1,000 ミリ秒	

- ✓ メモリデータ送信ディレイは、メモリされた読み取データを送信する際に、各読み取データ間に挿入されるディレイです。
- ✓ メモリが一杯になると、ラビットを鳴動し、これ以上メモリできることをバーレーに知らせます。メモリ内の読み取データの送信を行ってください。

4.7.6.1 バッヂモードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B A T Q T Y 1 .	数量モードオン 数量モードをオニします。 例えば、XYZというコードを3回スキャンすると、XYZ, 0003というデータがメモリされます。また、コードをスキャンした後、次頁の数量バーコードで直接数量データを入力・編集することができます。	
 ~ B A T Q T Y 0 .	数量モードオフ 数量モードをオフにします。 例えば、XYZというコードを3回スキャンすると、XYZというデータが3件戻りされます。	■
 ~ B A T L I F 0 .	メモリデータ送信 FIFO	■
 ~ B A T L I F 1 .	メモリデータ送信 LIFO	
 ~ B A T U N D .	最終メモリデータ削除	
 ~ B A T C L R .	メモリデータ全削除	
 ~ B A T _ T X .	メモリデータ送信	

数量バーコード	
 ~ B A T N U M 0 . 0	 ~ B A T N U M 1 . 1
 ~ B A T N U M 2 . 2	 ~ B A T N U M 3 . 3
 ~ B A T N U M 4 . 4	 ~ B A T N U M 5 . 5
 ~ B A T N U M 6 . 6	 ~ B A T N U M 7 . 7
 ~ B A T N U M 8 . 8	 ~ B A T N U M 9 . 9

数量バーコードの使い方

目的の]ドを読み取った後、1~9999(デフォルト値 1)の範囲で数量バーコードをスキャンします。

例 1) 数量データを 5 したい場合

1. 目的の]ドをスキャン
2. 数量バーコード「5」をスキャン

例 2) 数量データを 1500 したい場合

3. 目的の]ドをスキャン
4. 数量バーコードを「1」→「5」→「0」→「0」の順でスキャン

例 3) 数量データを 103 を 10 に変更したい場合

1. 数量バーコード「0」をスキャン (数量データが 0103 → 1030 となる)
2. 数量バーコード「0」をスキャン (数量データが 1030 → 0300 となる)
3. 数量バーコード「1」をスキャン (数量データが 0300 → 3001 となる)
4. 数量バーコード「0」をスキャン (数量データが 3001 → 0010 となる)

4.7.7 ワイヤレスイメージヤ名の設定

コマンド パーコード	説明	デフォルト
~BT_NAM0001.	ワイヤレスイメージヤ名「0001」	
~BT_NAM0002.	ワイヤレスイメージヤ名「0002」	
~BT_NAM0003.	ワイヤレスイメージヤ名「0003」	
~BT_NAM0004.	ワイヤレスイメージヤ名「0004」	
~BT_NAM0005.	ワイヤレスイメージヤ名「0005」	
~BT_NAM0006.	ワイヤレスイメージヤ名「0006」	
~BT_NAM0007.	ワイヤレスイメージヤ名「0007」	
~RESET_.	リセット ワイヤレスイメージヤをリセットし、ペーステーションと再リンクします。	

- ✓ Xenon 1902 シリーズ のワイヤレスイメージヤ名デフォルト値は、「Xenon」です。
- ✓ ワイヤレスイメージヤ名は、シリアルコマンド(5. シリアルコマンド 参照)のパケット内で使用します。
- ✓ ワイヤレスイメージヤ名を設定した場合は、必ずリセットを行って下さい。
- ✓ ペーステーションに複数の同一ワイヤレスイメージヤ名がリンクしている場合は、最初にリンク確立したワイヤレスイメージヤがシリアルコマンドを受信します。
- ✓ 任意のワイヤレスイメージヤ名を設定する場合は、次頁をご利用下さい。

コマンドバーコード	説明	デフォルト	
 ~ B T _ N A M .	<u>イメージ名 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「英数字バーコード表」から設定したい10桁迄のイメージ名をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、イメージ名を ABCD とする場合、ABCD「確定」の順でスキャンします。		
 ~ R E S E T _ .	<u>リセット</u> イメージをリセットし、ペーステーションと再リンクします。		
英数字バーコード表			
 0	 1	 2	 3
 4	 5	 6	 7
 8	 9	 A	 B
 C	 D	 E	 F
 G	 H	 I	 J
 K	 L	 M	 N
 O	 P	 Q	 R
 S	 T	 U	 V
 W	 X	 Y	 Z
			

- ✓ Xenon 1902 シリーズ のワイヤレスイメージ名デフォルト値は、「Xenon」です。
- ✓ ワイヤレスイメージ名は、シリアルコマンド(5. シリアルコマンド 参照)のパケット内で使用します。
- ✓ ワイヤレスイメージ名を設定した場合は、必ずリセットを行って下さい。
- ✓ ペーステーションに複数の同一ワイヤレスイメージ名がリソースしている場合は、最初にリソースを確立したワイヤレスイメージがシリアルコマンドを受信します。

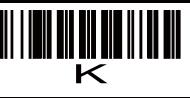
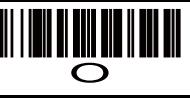
4.7.8 ワークグ ループ 番号の設定

ワイヤレスイメージヤにワークグ ループ 番号を設定することで、ワークグ ループ 毎に異なるパラメータ設定値を持たせることができます。また、ワークグ ループ 番号指定して、ホスト ESC]マップ（「4.7.10 ホスト ESC]マップ の設定」を参照）を送信し、各ワイヤレスイメージヤのビーブやLEDを制御することが可能になります。

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ G R P S E L 0 .	ワークグ ループ 番号「0」	■
 ~ G R P S E L 1 .	ワークグ ループ 番号「1」	
 ~ G R P S E L 2 .	ワークグ ループ 番号「2」	
 ~ G R P S E L 3 .	ワークグ ループ 番号「3」	
 ~ G R P S E L 4 .	ワークグ ループ 番号「4」	
 ~ G R P S E L 5 .	ワークグ ループ 番号「5」	
 ~ G R P S E L 6 .	ワークグ ループ 番号「6」	

✓ワークグ ループ は、ベースステーションと接続する場合に有効です。他の Bluetooth デバイスでは使用できません。

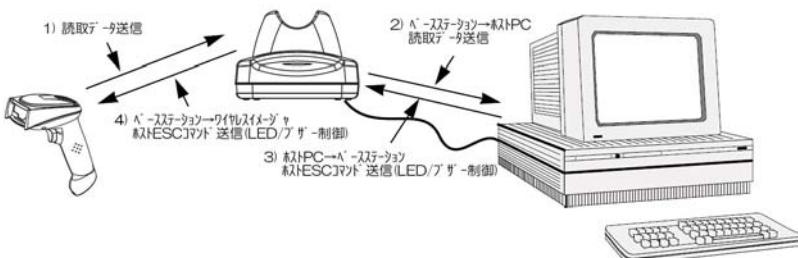
4.7.9 SPP 接続の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト	
 ~ B T _ D N G 5 .	PC/ノートブック用 SPP 接続		
 ~ B T _ D N G 1 .	PDA 用 SPP 接続		
 ~ B T _ P I N .	PIN コード 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキヤシし、続けて「英数字バーコード表」から設定したい16桁迄の PIN コードをスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤシします。 例えば、PIN コードを 123456 とする場合、123456「確定」の順でスキヤシします。	1234	
 ~ B T _ R M V .	SPP 接続解除 SPP 接続を解除します。		
英数字バーコード表			
 0	 1	 2	 3
 4	 5	 6	 7
 8	 9	 A	 B
 C	 D	 E	 F
 G	 H	 I	 J
 K	 L	 M	 N
 O	 P	 Q	 R
 S	 T	 U	 V
 W	 X	 Y	 Z
 確定		 破棄	

- ✓複数のイメージを1つの仮想 COM ポートに接続することはできません。
- ✓通信圏外から通信圏内に戻った場合でも、自動的に再接続はできません。

4.7.10 オート ESC コマンド の設定

オート ESC コマンド をオンにすることで、PC からワイヤレスイメージャの LED やブザーを制御することができます。例えば、PC 側で読み取データをデータベースと照合検査し、合致しない場合、オーバーライドに対して、エラー状態を知らせることができます。また、1 つのページステーションに対して、複数のワイヤレスイメージャをリンクさせている場合でも、各ワイヤレスイメージャにワークグループ番号を割り当てることで、個別にオート ESC コマンドを送信することができます。



オート ESC コマンド パケットフォーマット		
ワークグループ番号(1バイト)	ESC コマンド(可変長)	ターミネータ(1バイト)
0(0x30) ~ 6(0x36)	<ESC>a	, (0x2C)
例) ワークグループ番号 0 のワイヤレスイメージャに対して、<ESC>5<ESC>6 コマンドを送信 送信パケット : 0<ESC>5<ESC>6, <ESC>=0x1B		
コマンドリスト		
<ESC>a	パラメータ変更成功時と同じ動作、ビープ(ピロ) + 緑色 LED1 回点滅	
<ESC>b	パラメータ変更失敗時と同じ動作、ビープ(ピーピーピー) + 赤色 LED 3 回点滅	
<ESC>1	緑色 LED 135 ミリ秒間点灯(連続点灯時は、70 ミリ秒以上の間隔要)	
<ESC>2	緑色 LED 2 秒間点灯(連続点灯時は、500 ミリ秒以上の間隔要)	
<ESC>3	緑色 LED 5 秒間点灯(連続点灯時は、500 ミリ秒以上の間隔要)	
<ESC>4	低音ビープを 1 回鳴動	
<ESC>5	中音ビープを 1 回鳴動	
<ESC>6	高音音ビープを 1 回鳴動	
<ESC>7	読み取り OK, ビープ(ピッ) + 緑色 LED1 回点滅	
<ESC>8	読み取り NG(<ESC>b 同等), ビープ(ピーピーピー) + 赤色 LED 3 回点滅	

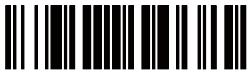
コマンド パーコード	説明	デフォルト
~ H S T A C K 1 .	オート ESC コマンド ACK オン ワイヤレスイメージャは読み取データ送信後、オート ESC コマンド受信待ちになります。オート ESC コマンドを受信すれば、その動作を行った後、次のコード読み取りに移ります。10 秒以内に受信できなければ、タイムアウトとなり、エラービープを鳴動します。	
~ H S T A C K 0 .	オート ESC コマンド ACK オフ	■

- ✓ オート ESC コマンドは、RS232C/USB パーチャル COM インターフェイスで使用できます。
- ✓ RS232C インターフェイスの場合は、ポートを 9,600bps 以下に設定してください。

4.8 イソデ イケータ

4.8.1 グッドリードブザーの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P B E P 1 .	グッドリードブザー オン	■
 ~ B E P B E P 0 .	グッドリードブザー オフ	
 ~ B E P L V L 0 .	ブザー音量 無し	
 ~ B E P L V L 1 .	ブザー音量 小	
 ~ B E P L V L 2 .	ブザー音量 中	
 ~ B E P L V L 3 .	ブザー音量 大	■
 ~ B E P F Q 1 1 6 0 0 .	ブザー周波数 1,600Hz	
 ~ B E P F Q 1 4 2 0 0 .	ブザー周波数 4,200Hz	
 ~ B E P F Q 1 2 7 0 0 .	ブザー周波数 2,750Hz	■
 ~ B E P B I P 0 .	ブザー長 ノーマル	■
 ~ B E P B I P 1 .	ブザー長 ショート	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P R P T .	グッドリードブザー-/LED回数設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい回数を1~9の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

4.8.2 イラーブ ザーの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P F Q 2 2 5 0 .	ブザー周波数 250Hz	■
 ~ B E P F Q 2 3 2 5 0 .	ブザー周波数 3,250Hz	
 ~ B E P F Q 2 4 2 0 0 .	ブザー周波数 4,200Hz	
 ~ B E P E R R .	<u>イラーブ ザー/LED 回数設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい回数を1~9の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.3 グッドリード LED の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P L E D 1 .	グッドリード LED オン	■
 ~ B E P L E D 0 .	グッドリード LED オフ	

4.8 イメージ キャプション

4.8.1 マニュアル/シリアルトリガ モード の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ P A P H H F .	マニュアル/シリアルトリガ ノーマルモード トリガ ボタン又はシリアルコマンドで読み取りを開始するモードです。ソフト モードに比べて、読み取深度(DOF)が大きくなります。	■
 ~ P A P H H S .	マニュアル/シリアルトリガ ソフト モード トリガ ボタン又はシリアルコマンドで読み取りを開始するモードです。ノーマルモードに比べて、読み取深度(DOF)は小さくなりますが、超高速スキャニングを実現します。	
 ~ T R G S T O .	読み取タイムアウト 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~300,000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	0

数値バーコード表

	
0	1
	
2	3
	
4	5
	
6	7
	
8	9
	
確定	戻り

マニュアルトリガ モード トリガ ボタンを押している間、読み取りを行います。データを読み取るか、トリガ ボタンを離すと、読み取りを終了します。読み取タイムアウトを設定した場合は、その時間が経過すると読み取りを終了します。

シリアルトリガ モード 読取開始シリアルコマンド を受信すると、読み取りを行います。データを読み取るか、読み取終了シリアルコマンド を受信すると、読み取りを終了します。読み取タイムアウトを設定した場合は、その時間が経過すると読み取りを終了します。

読み取開始
読み取終了

<SYN> T <CR>
<SYN> U <CR>

<SYN> = 16hex, <CR> = 0Dhex

コマンド、バーコード	説明	デフォルト
 ~ P W R N O L 0 .	マニュアル/シリアルトリガ LED 照明 無し	
 ~ P W R N O L 1 0 0 .	マニュアル/シリアルトリガ LED 照明 低照度	
 ~ P W R N O L 1 2 0 .	マニュアル/シリアルトリガ LED 照明 中照度	
 ~ P W R N O L 1 5 0 .	マニュアル/シリアルトリガ LED 照明 高照度	■

4.8.2 パワータイムアウトの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ B T _ L P T 0 .	パワータイムアウト 0 秒(無し)	
 ~ B T _ L P T 2 0 0 .	パワータイムアウト 200 秒	
 ~ B T _ L P T 4 0 0 .	パワータイムアウト 400 秒	
 ~ B T _ L P T 9 0 0 .	パワータイムアウト 900 秒	
 ~ B T _ L P T 3 6 0 0 .	パワータイムアウト 3,600 秒	■
 ~ B T _ L P T 7 2 0 0 .	パワータイムアウト 7,200 秒	

- ✓ シリアル/マニアルトリガモードにのみ有効です。
- ✓ パワータイムアウト時間が経過すると、イメージヤは電源をオフにします。トリガボタンを引くと、パワーアップビープを鳴動し、復帰します。ワイヤレスイメージヤは、数秒後にリセットを再確立します。

4.8.3 スタンド 検知センサーの設定¹

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ T R G S S W 1 .	スタンド 検知センサー オン イメージヤをスタンドにセットすると自動的にオートセンスマードに移行します。	
 ~ T R G S S W 0 .	スタンド 検知センサー オフ	

¹ プレゼンテーションエリアイメージヤは対応していません。

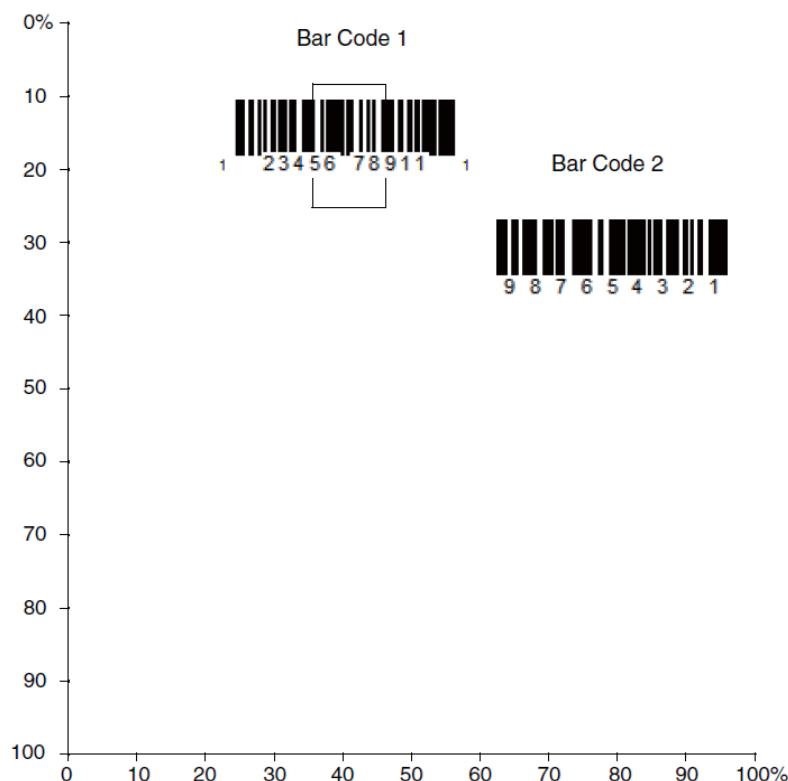
4.8.4 プレゼンテーションモードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~TRGMOD3.	<u>プレゼンテーションモード</u> イメージの読み取りエリアにラベルを差し出すと自動的に読み取りを開始するモードです。このモードは読み取りエリアの明暗を検知しているため、周囲の照明が暗すぎると、正常に動作しない場合があります。	
 ~TRGPPTO.	<u>プレゼンテーション読み取りタイムアウト設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~300,000の範囲で入力し、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	5,000
 ~TRGPCK1.	<u>読み取り後LEDオフ</u> データ読み取り後、少しの間LEDをオフの状態に保ちます。	■
 ~TRGPCK0.	<u>読み取り後LEDオフ</u> データ読み取り後、直ぐにLEDオフします。	
 ~TRGPMSS.	<u>プレゼンテーション感度</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~20の範囲で入力し、最後に「確定」バーコードをスキャンします。(0 = 最高感度)	1
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 初期化	

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ P W R L D C 0 .	プリゼンションモード LED 照明 無し	
 ~ P W R L D C 1 0 0 .	プリゼンションモード LED 照明 低照度	
 ~ P W R L D C 1 2 0 .	プリゼンションモード LED 照明 中照度	
 ~ P W R L D C 1 5 0 .	プリゼンションモード LED 照明 高照度	■

4.8.4.1 プリゼンションセンタリング ウィンドウ

プリゼンションセンタリング ウィンドウを設定することで、確実に目的にバーコードを読み取ることが可能になります。例えば、下記の例では、プリゼンションセンタリング ウィンドウを左 20%・右 30%・上 8%・下 25%に設定しているため、Bar Code1 を確実に読み取り、Bar Code2 を読み取ることはできません。



- ✓ 読み取り対象のバーコードがプリゼンションセンタリング ウィンドウに接触する形で通過すれば読み取りが行えます。バーコード全体がプリゼンションセンタリング ウィンドウ内に収まる必要はありません。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P D C W I N 1 .	フレゼンテーションセントリック ウィンドウ 有り	
 ~ P D C W I N 0 .	フレゼンテーションセントリック ウィンドウ 無し	■
 ~ P D C T O P .	フレゼンテーションセントリック ウィンドウ 上 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	40%
 ~ P D C B O T .	フレゼンテーションセントリック ウィンドウ 下 上記を参照ください。	60%
 ~ P D C L F T .	フレゼンテーションセントリック ウィンドウ 左 上記を参照ください。	40%
 ~ P D C R G T .	フレゼンテーションセントリック ウィンドウ 右 上記を参照ください。	60%
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定		 破棄

4.8.5 ストリーミング プレゼンテーションモード の設定

コマンドバー-コード	説明	デフォルト
 ~ P A P S P N .	<u>ストリーミング プレゼンテーション ノーマルモード</u> イメージャは、照明 LED を常に点燈させて、コードを検知します。ISO15693 モードに比べて、読み取り深度(DOF)が大きくなります。	
 ~ P A P S P E .	<u>ストリーミング プレゼンテーション エンドツイスト モード</u> ノーマルモードに比べて、読み取り深度(DOF)は小さくなりますが、超高速スキャニングを実現します。	

4.8.6 携帯電話液晶読取モード の設定

コマンドバー-コード	説明	デフォルト
 ~ P A P H H C .	<u>携帯電話液晶読取モード (トリガ)</u> イメージャは、トリガを引くと、読み取りを行います。ISO15693 モードに比べて、読み取り深度(DOF)が大きくなります。	
 ~ P A P S P C .	<u>携帯電話液晶読取モード ストリーミング プレゼンテーション</u> イメージャは、照明 LED を常に点燈させて、コードを検知します。ノーマルモードに比べて、読み取り深度(DOF)は小さくなりますが、超高速スキャニングを実現します。	
 ~ P A P P R C .	<u>携帯電話液晶読取モード プレゼンテーション</u> イメージャは、オブジェクトを検知すると、照明 LED を点燈させて、コードを読み取ります。	

✓携帯電話の液晶画面やその他 LCD 画面を読み取るためのモードです。このモードでは、印刷されたコードの読み取り速度がわずかに遅くなります。

4.8.7 CodeGate®の設定

CodeGate®を有りに設定すると、トリガボタンが押されるまで、読み取りデータを送信しません。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A O S C G D 0 .	CodeGate® 無し (Out-of-Stand)	■
 ~ A O S C G D 1 .	CodeGate® 有り (Out-of-Stand)	

4.8.8 イメージスナップ & シップ の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T R G M O D 6 .	イメージスナップ & シップ イメージキャプチャモードで動作します。トリガを引くと、イメージ撮影が行われ、イメージ画像(デフォルト jpg)が外に送信されます。	

✓この設定を行うと設定用コマンドバーコードを含む全てのJ-ド読み取りができなくなります。J-ドの読み取りを行う場合は、「4.8.1 マニュアル/シリアルトリガモードの設定」にある他のトリガモードをシリアルコマンド(「5. シリアルコマンド」を参照)で送信し、トリガモードの変更を行ってください。

4.8.9 二次元コード読み取りタイムの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y 2 P R 0 .	二次元コード読み取りタイム無し	■
 ~ D L Y 2 P R 1 0 0 0 .	二次元コード読み取りタイム 1秒	
 ~ D L Y 2 P R 3 0 0 0 .	二次元コード読み取りタイム 3秒	
 ~ D L Y 2 P R 4 0 0 0 .	二次元コード読み取りタイム 4秒	

4.8.10 同一コード読取ディレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y R R D 5 0 0 .	同一コード読取ディレイ 500ミリ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を500ミリ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D 7 5 0 .	同一コード読取ディレイ 750ミリ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を750ミリ秒に設定します。	■
 ~ D L Y R R D 1 0 0 0 .	同一コード読取ディレイ 1,000ミリ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を1,000ミリ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D 2 0 0 0 .	同一コード読取ディレイ 2,000ミリ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を2,000ミリ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D .	同一コード読取ディレイ 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~30,000の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	750
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.11 コード読取ディレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~DLYGRD0.	コード読取ディレイ無し 次のコードを読み取る迄の間隔を0ミリ秒(無し)に設定します。	■
 ~DLYGRD500.	コード読取ディレイ500ミリ秒 次のコードを読み取る迄の間隔を500ミリ秒に設定します。	
 ~DLYGRD1000.	コード読取ディレイ1,000ミリ秒 次のコードを読み取る迄の間隔を1,000ミリ秒に設定します。	
 ~DLYGRD.	コード読取ディレイ設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~30,000の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	500

数値バーコード表

4.8.12 照明 LED/イメージーの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ S C N L E D 1 .	照明 LED オン	■
 ~ S C N L E D 0 .	照明 LED オフ。	
 ~ S C N A I M 0 .	イメージー オフ	
 ~ S C N A I M 2 .	イメージー オン	■
 ~ S C N D L Y 2 0 0 .	イメージーディレイ 200 ミリ秒	
 ~ S C N D L Y 4 0 0 .	イメージーディレイ 400 ミリ秒	
 ~ S C N D L Y 0 .	イメージーディレイ 0 ミリ秒	■

イメージーディレイで設定された時間経過後、イメージを取り込みます。

4.8.13 パワーダウントタイムアウトの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ S D R T I M .	<p><u>パワーダウントタイムアウト 設定開始</u> 設定された時間アイドル状態が続くと、イメージヤはパワーダウントします。パワーダウントさせたくない場合は、0を設定します。左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~999,999の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 設定単位は、ミリ秒です。</p>	60,000
数値バーコード表		
		0
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8
		9
		確定
		破棄

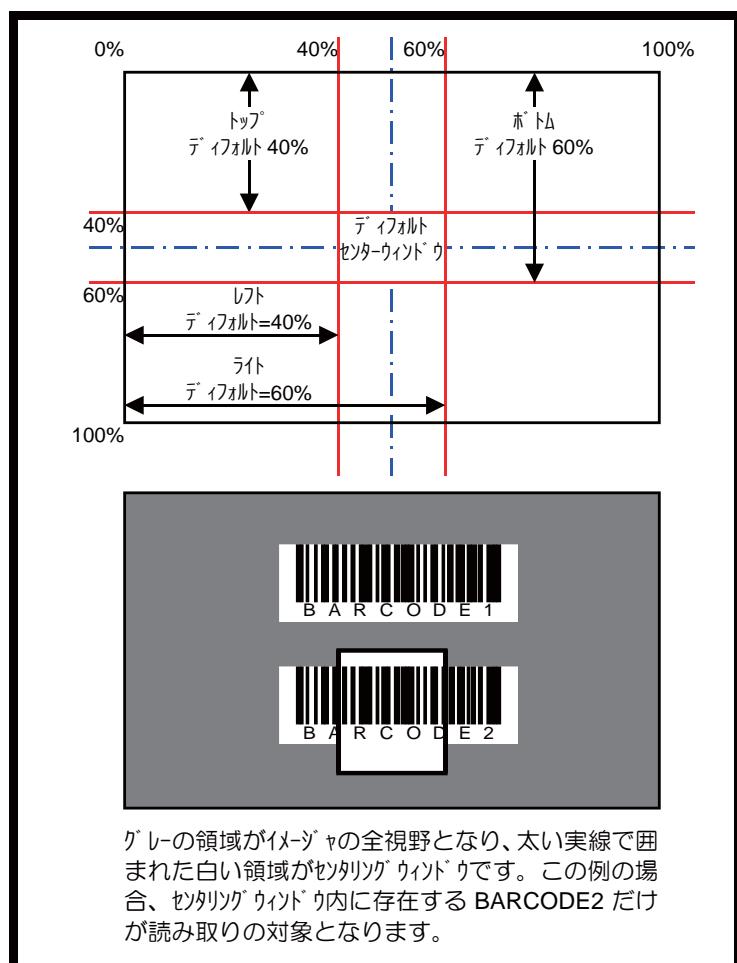
✓この設定は、ケーブル式イメージヤにのみ有効です。

4.8.14 センタリング ウィンドウの設定

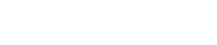
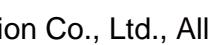
センタリング ウィンドウは、複数コードが隣接するペルから目的のコードだけを確実に読み取るために、イメージャの視野を限定(狭める)するための機能です。本書「4.8.7 照明 LED/イヤーの設定」で説明したイヤーデイルイと併用することで、読み取りエラーを最小限に抑えることが可能になります。

センタリング ウィンドウをオフにすると、トップ・ボトム・レフト・ライトで設定されたエリアがセンタリング ウィンドウとなり、イメージャはそのウィンドウ内に存在するコードだけを読み取ります。ウィンドウ内にコードが無ければ、何も読み取れません。

下記は、センタリング ウィンドウの概念と例を示しています。



コマンド バーコード	説明	デフォルト
	センタリング ウィンドウ オフ	■
	センタリング ウィンドウ オン	

	<u>センタリング ウィンドウ ツップ 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~100の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、%です。	40
	<u>センタリング ウィンドウ ボトム 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~100の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、%です。	60
	<u>センタリング ウィンドウ レフト 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~100の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、%です。	40
	<u>センタリング ウィンドウ ライト 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~100の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、%です。	60
<u>数値バーコード表</u>		
		0
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8
		9
		確定
		石皮集

4.8.15 マルチコード読み取りの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ S H O T G N 1 .	<u>マルチコード 読み取り オフ</u> イメージヤは、トリガを引いている間、常に新たなコード(シンボル)をサーチし、読み取りを試みます。各コード(シンボル)を一度づつ読み取り(同じコードを重複読み取りしない)、その都度、グッドリードサウンドを鳴動(オフの場合)させます。	
 ~ S H O T G N 0 .	<u>マルチコード 読み取り オフ</u> イメージヤは、イメージに最も近いコード(シンボル)だけを読み取ります。	■

4.8.16 シボル優先順位読み取りの設定

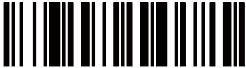
シボル優先順位の設定を行うことで、読み取りエリア内に複数のシボル種が存在する場合でも、的確に優先順位の高いシボル種を読み取らせることが可能になります。

例えば、他の業務でコード39を読み取る必要があるため、コード39の読み取りを無しに設定することはできないが、ある一部の業務で読み取りエリア内にコード39とコード128が存在する製品箱のコード128のみを確実に読み取らなければいけないとなります。この場合、優先順の高いシボルをコード128として、目的のコード128だけを確実に読み取ることができます。

シボル優先順位は、高い・低い・定義無しの3つに分類され、イメージは、低いに設定されたシボル種を読み取りエリア内で検知すると、そのシボルをシボル優先順位タグアットで設定された時間無視して、高いに設定されているシボル種を探します。優先順位タグアット内に見つかれば、それを読み取り、見つからなければ、読み取りエリア内にある低い又は定義無しのシボル種を読み取ります。

コマンドバー - コード	説明	デイフィオルト
~ P R F E N A 1 .	シボル優先順位読み取り 有り	
~ P R F E N A 0 .	シボル優先順位読み取り 無し	■
~ P R F C O D .	<u>優先順位の高いシボル設定開始</u> 下記に設定手順を示します。 1. 左記のコマンドバー - コードをスキャン 2. 対象となるシボルのコードID (本書「A.1 コードID表」参照) を「英数字バー - コード表」からスキャン 3. 最後に「確定」をスキャンします。	無し
~ P R F B L K .	<u>優先順位の低いシボル設定開始</u> 下記に設定手順を示します。 1. 左記のコマンドバー - コードをスキャン 2. 対象となるシボルのコードID (本書「A.1 コードID表」参照) を「英数字バー - コード表」からスキャン 4. 続けて、対象となるシボルを追加する場合は、区切りを意味するFFを「英数字バー - コード表」からスキャン、追加しない場合は、そのまま次に進みます。 6. 最後に「確定」をスキャンします。	無し

- ✓ OCR 読み取りには、適用されません。
- ✓ 優先順位の低いシボルを読み取る場合は、イヤーの中央にくるように照射してください。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R F P T O .	シンボル優先順位タイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を1~3000の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	500
 ~ P R F D F T .	シンボル優先順位デフォルト シンボル優先順位の設定を全てデフォルト値に戻します。	
数値・英数字バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 A	 B	
 C	 D	
 E	 F	
 確定	 破棄	

- ✓OCR読み取りには、適用されません。
- ✓優先順位の低いシンボルを読み取る場合は、イヤーの中央にくるように照射してください。

4.8.17 反転コード読み取りの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ V I D R E V 1 .	反転コード読み取り オン 反転したコード(シンボル)の読み取りを行います。	
 ~ V I D R E V 0 .	反転コード読み取り オフ 反転したコード(シンボル)の読み取りを行いません。	■
 ~ V I D R E V 0 .	反転コード読み取り オフ(初タイプ) 反転したコード(シンボル)の読み取りを行いません。	

4.9 データ送信

4.9.1 ノーリード 送信の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ S H W N R D 1 .	ノーリード 送信 オン ノーリード、「NR」を送信します。	
 ~ S H W N R D 0 .	ノーリード 送信 オフ ノーリード、「NR」を送信しません。	■

4.9.2 ファンクションコード 送信の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ R M V F N C 0 .	ファンクションコード 送信 オン	■
 ~ R M V F N C 1 .	ファンクションコード 送信 オフ	

4.9.3 キャラクタ間ディレイの設定

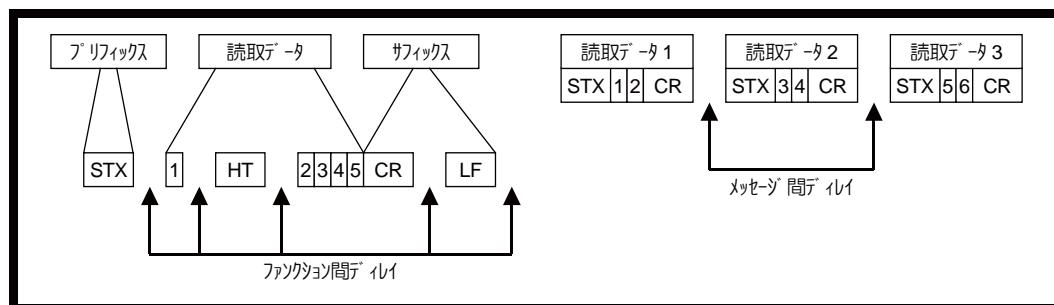
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y C H R .	<p><u>キャラクタ間ディレイ 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~99の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20ミリ秒に設定したい場合は、4をスキャンします。</p>	0
数値バーコード表		
	0	
	2	
	4	
	6	
	8	
	確定	
		破棄

4.9.4 指定キャラクタデ イルイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y C R X .	<p><u>指定キャラクタデ イルイ 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~99の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20ミリ秒に設定したい場合は、4をスキャンします。</p>	0
 ~ D L Y _ X X .	<p><u>指定キャラクタ 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「英数字バーコード表」から設定したいキャラクタをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。例えば、A(41hex)を設定する場合は、41「確定」の順でスキャンします。この指定キャラクタ送信後に、設定されたデイルイが実行されます。</p>	
数値・英数字バーコード表		
		0
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8
確認 破棄		

4.9.5 ファンクション間デ イレイ・メッセージ 間デ イレイの設定

下図に示すように、ファンクションキャラクタ(00~1Fhex)が送信された後に実行されるデ イレイがファンクション間デ イレイ、読み取データ間に実行されるデ イレイがメッセージ 間デ イレイです。



コマンドバーコード	説明	デフォルト
	<u>ファンクション間デ イレイ 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~99の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20ミリ秒に設定したい場合は、4をスキャンします。	0
	<u>メッセージ 間デ イレイ 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~99の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20ミリ秒に設定したい場合は、4をスキャンします。	0
数値バーコード表		
	0	
	2	
	4	
	6	
	8	
	確定	

4.9.6 プリフィックス/サフィックスの設定

下記に示すように、読み取りデータの前後にそれぞれ 1~11 文字までの任意のプリフィックス及びサフィックスを付加して送信することができます。

プリフィックス	読み取りデータ	サフィックス
無し又は 1~11 文字	可変長	無し又は 1~11 文字

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ P R E B K 2 .	<u>プリフィックス 設定開始</u> 左記のコマンド バーコードをスキャン後、対象となるソボルのコード ID(本書「A.1 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、続けて設定したい 11 文字までのプリフィックスをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、全ソボル(99)を対象にプリフィックスを 123 とする場合、各キャラクタを 16 進数に変換し、99313233 「確定」の順でスキャンします。	無し
 ~ P R E C A 2 .	<u>全プリフィックス クリア</u> 設定されている全プリフィックスをクリアします。	
 ~ S U F B K 2 .	<u>サフィックス 設定開始</u> 左記のコマンド バーコードをスキャン後、対象となるソボルのコード ID(本書「A.1 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、続けて設定したい 11 文字までのサフィックスをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、全ソボル(99)を対象にサフィックスを TAB(09hex)とする場合、9909 「確定」の順でスキャンします。	無し
 ~ S U F C A 2 .	<u>全サフィックス クリア</u> 設定されている全サフィックスをクリアします。	
 ~ V S U F C R .	<u>全サフィックス CR(キャリッジ リターン)</u> <u>設定されている全サフィックスをクリアします。</u>	

- コード ID 送信を指定する場合は、特殊コード 5C80 をスキャンします。
- AIM ID 送信を指定する場合は、特殊コード 5C81 をスキャンします。
- ¥マーク(バックスラッシュ)送信を指定する場合は、特殊コード 5C81 をスキャンします。

例) 全ソボル(99)のプリフィックスをコード ID に設定する場合、下記の順でスキャンします。

「プリフィックス」 995C80 「確定」

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R E C L 2 .	対象プロフィックスクリア 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるソボルのコートID(本書「A.5コートID表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
 ~ S U F C L 2 .	対象サフィックスクリア 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるソボルのコートID(本書「A.5コートID表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
英数字バーコード表		
		0
		2
		4
		6
		8
		A
		C
		E
		確定
		破棄

4.9.7 データ送信シーケンスの設定

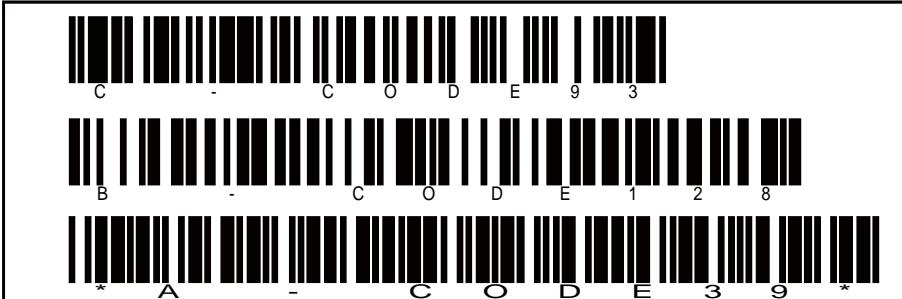
データ送信シーケンスを設定することにより、マクコード読み取り(本書「4.8.10 マクコード読み取りの設定」参照)を行った場合でも、データ送信シーケンスで設定された規則に従って、常に同じフォーマット(順序)でデータを送信することが可能になります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ S E Q B L K .	<u>データ送信シーケンス 設定開始</u> 下記に設定手順を示します。 1. 左記のコマンドバーコードをスキャン 2. 対象となるシンボルのコードID (本書「A.1 コードID表」参照) を「英数字バーコード表」からスキャン 3. 条件を適用したいシンボルの桁数 を0000~9999の範囲で「数値 バーコード表」からスキャン (50桁=0050, 可変長=9999) 4. 条件を適用したいシンボルの先頭 キャラクタを「英数字バーコード表」から スキャン (A=41hex, 任意=99) 5. シーケンスの区切りを意味するFF を「英数字バーコード表」からスキャン 6. 次のシーケンスを設定する場合は、 2~6を繰り返します。 シーケンス設定確定する場合は、 最後に「確定」をスキャンします。	
 ~ S E Q D F T .	<u>データ送信シーケンス デフォルト</u> データ送信シーケンスの設定をデフォルトに戻します。	
 ~ S E Q _ E N 2 .	<u>データ送信シーケンス エクスクルーシブ</u> データ送信シーケンスを必ず適用して、データを送信します。設定規則に当てはまらないデータは破棄します。	
 ~ S E Q _ E N 1 .	<u>データ送信シーケンス オン</u> データ送信シーケンスを適用しますが、設定規則に当てはまらないデータを読み取った場合は、そのままデータを送信します。	
 ~ S E Q _ E N 0 .	<u>データ送信シーケンス オフ</u> 読取データをそのまま送信します。	

例えば、下記に示す多段バーコードを[コード 39][コード 128][コード 93]の順で必ず送信したい場合、次の手順でデータ送信ソケツを設定します。

「データ送信ソケツ設定開始」 → 62 9999 41 FF → 6A 9999 42 FF → 69 9999 43 FF → 「確定」
 ① ② ③

- ① コード ID = 62(コード 39), 桁数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 41(A), ソケツ区切り FF
- ② コード ID = 6A(コード 128), 桁数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 42(B), ソケツ区切り FF
- ③ コード ID = 69(コード 93), 桁数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 43(C), ソケツ区切り FF



数値・英数字バーコード表

4.10 リニアシンボル(バーコード)の読み取り設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
~ A L L E N A 1 .	<u>全リニアシンボル読み取り オン</u> 全てのリニアシンボル(バーコード)の読み取りをオンにします。	
~ A L L E N A 0 .	<u>全リニアシンボル読み取り オフ</u> 全てのリニアシンボル(バーコード)の読み取りをオフにします。	

4.10.1 コーダバ-(NW7)の設定

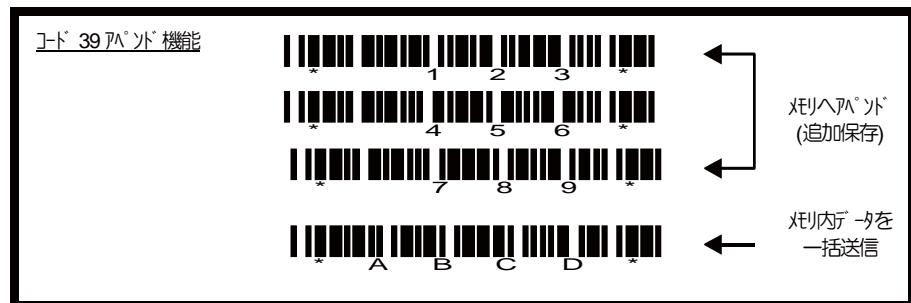
コマンドバーコード	説明	デフォルト
~ C B R D F T .	<u>コーダバ- 全デフォルト</u> コーダバ-に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
~ C B R E N A 1 .	<u>コーダバ- 読み取り オン</u> コーダバ-を読み取ります。 ■	
~ C B R E N A 0 .	<u>コーダバ- 読み取り オフ</u> コーダバ-を読み取りません。	
~ C B R S S X 1 .	<u>スタート/ストップ送信 オン</u> スタート/ストップキャラクタを送信します。	
~ C B R S S X 0 .	<u>スタート/ストップ送信 オフ</u> コーダバ-のスタート/ストップキャラクタを送信しません。 ■	
~ C B R C K 2 0 .	<u>チェックディジット オフ</u> チェックディジット(モジュロ 16)検査をしません。 ■	
~ C B R C K 2 1 .	<u>チェックディジット オン/送信 オフ</u> チェックディジット(モジュロ 16)検査をしますが、送信は行いません。	
~ C B R C K 2 2 .	<u>チェックディジット オン/送信 オン</u> チェックディジット(モジュロ 16)検査及び送信を行います。	

コードバー連結機能

コマンド バーコード	説明	デフォルト
	連結機能 オフ(必須) 連結を行いますが、連結の無い単独の「D」シボルは読み取りません。	
	連結機能 オン 連結を行います。連結の無い単独の「D」シボルも読み取れます。	
	連結機能 オフ 連結を行いません。	■
	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を2~60の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を2~60の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	60
数値バーコード表		

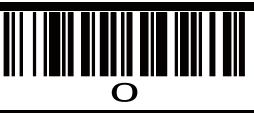
4.10.2 コード 39 の設定

コマンドバー-コード	説明	デバイフルト
 ~ C 3 9 D F T .	<u>コード 39 全デバイフルト</u> コードバーに関する設定を全てデバイフルトに戻します。	
 ~ C 3 9 E N A 1 .	<u>コード 39 読み取り オン</u> コード 39 を読み取ります。	■
 ~ C 3 9 E N A 0 .	<u>コード 39 読み取り オフ</u> コード 39 を読み取りません。	
 ~ C 3 9 S S X 1 .	<u>スタート/ストップ送信 オン</u> スタート/ストップキャラクタを送信します。	
 ~ C 3 9 S S X 0 .	<u>スタート/ストップ送信 オフ</u> コードバーのスタート/ストップキャラクタを送信しません。	■
 ~ C 3 9 C K 2 0 .	<u>チェックディジット オフ</u> チェックディジット検査をしません。	
 ~ C 3 9 C K 2 1 .	<u>チェックディジット オン/送信 オフ</u> チェックディジット検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ C 3 9 C K 2 2 .	<u>チェックディジット オン/送信 オン</u> チェックディジット検査及び送信を行います。	
 ~ C 3 9 A S C 1 .	<u>フルasaki-読み取り オン</u> フルasaki-読み取りをします。	
 ~ C 3 9 A S C 0 .	<u>フルasaki-読み取り オフ</u> フルasaki-読み取りをしません。	■
 ~ C 3 9 B 3 2 1 .	<u>コード 32(PARAF)読み取り オン</u> コード 32(PARAF)を読み取ります。	
 ~ C 3 9 B 3 2 0 .	<u>コード 32(PARAF)読み取り オフ</u> コード 32(PARAF)を読み取りません。	



コマンド バーコード	説明	デバイス
	アソート機能 オフ 入力で始まるコード 39 データを読み取ると、最初の入力を削除した後、内部戻りにアソート(追加保存)していきます。入力以外で始まるコード 39 データを読み取ると、戻り内のデータを一括送信します。	
	アソート機能 オフ アソートを行いません。	■
	最小行数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小行数を1~48の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
	最大行数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大行数を1~48の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
		0
		2
		4
		6
		8
		確認 破棄

4.10.3 インターリーブド 2/5 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ 1 2 5 D F T .	インターリーブド 2/5 全デフォルト インターリーブド 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ 1 2 5 E N A 1 .	インターリーブド 2/5 読み取り オフ インターリーブド 2/5 を読み取ります。	■
 ~ 1 2 5 E N A 0 .	インターリーブド 2/5 読み取り オフ インターリーブド 2/5 を読み取りません。	
 ~ 1 2 5 C K 2 0 .	チェックデイジット オフ チェックデイジット検査をしません。	■
 ~ 1 2 5 C K 2 1 .	チェックデイジット オン/送信 オフ チェックデイジット検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ 1 2 5 C K 2 2 .	チェックデイジット オン/送信 オン チェックデイジット検査及び送信を行います。	
 ~ 1 2 5 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を2~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ 1 2 5 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を2~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.4 NEC 2/5 の設定

コマンドバー-コード	説明	デフォルト
 ~ N 2 5 D F T .	<u>NEC 2/5 全デフォルト</u> NEC 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ N 2 5 E N A 1 .	<u>NEC 2/5 読み取り オン</u> NEC 2/5 を読み取ります。	■
 ~ N 2 5 E N A 0 .	<u>NEC 2/5 読み取り オフ</u> NEC 2/5 を読み取りません。	
 ~ N 2 5 C K 2 0 .	<u>チェックデイジット オン</u> チェックデイジット検査をしません。	■
 ~ N 2 5 C K 2 1 .	<u>チェックデイジット オン/送信 オフ</u> チェックデイジット検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ N 2 5 C K 2 2 .	<u>チェックデイジット オン/送信 オン</u> チェックデイジット検査及び送信を行います。	
 ~ N 2 5 M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバー-コードをスキャン後、「数値バー-コード表」から最小桁数を2~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー-コードをスキャンします。	4
 ~ N 2 5 M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバー-コードをスキャン後、「数値バー-コード表」から最大桁数を2~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー-コードをスキャンします。	80

数値バー-コード表

4.10.5 コード 93 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ C 9 3 D F T .	コード 93 全デフォルト コード 93 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 9 3 E N A 1 .	コード 93 読み取り オン コード 93 を読み取ります。	■
 ~ C 9 3 E N A 0 .	コード 93 読み取り オフ コード 93 を読み取りません。	
 ~ C 9 3 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ C 9 3 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定		 破棄

4.10.6 ストレート 2/5 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	ストレート 2/5 全デフォルト ストレート 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
	ストレート 2/5 読み取り オフ ストレート 2/5 を読み取ります。	■
	ストレート 2/5 読み取り オフ ストレート 2/5 を読み取りません。	
	最小行数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小行数を1~48の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
	最大行数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大行数を1~48の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定
		破棄

4.10.7 IATA 2/5 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ A 2 5 D F T .	IATA 2/5 全デフォルト IATA2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ A 2 5 E N A 1 .	IATA 2/5 読み取り カン IATA 2/5 を読み取ります。	
 ~ A 2 5 E N A 0 .	IATA 2/5 読み取り カン IATA 2/5 を読み取りません。	■
 ~ A 2 5 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最小桁数を1~48の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	4
 ~ A 2 5 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最大桁数を1~48の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	48
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定		 破棄

4.10.8 マトリクス 2/5 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ X 2 5 D F T .	マトリクス 2/5 全デフォルト マトリクス 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ X 2 5 E N A 1 .	マトリクス 2/5 読み取り オフ マトリクス 2/5 を読み取ります。	
 ~ X 2 5 E N A 0 .	マトリクス 2/5 読み取り オフ マトリクス 2/5 を読み取りません。	■
 ~ X 2 5 M I N .	最小行数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小行数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ X 2 5 M A X .	最大行数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大行数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

4.10.9 コード 11 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ C 1 1 D F T .	コード 11 全デフォルト コード 11 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 1 1 E N A 1 .	コード 11 読み取り オン コード 11 を読み取ります。	
 ~ C 1 1 E N A 0 .	コード 11 読み取り オフ コード 25 を読み取りません。	■
 ~ C 1 1 C K 2 0 .	1 チェックデイジット 1 チェックデイジット検査をします。	
 ~ C 1 1 C K 2 1 .	2 チェックデイジット 2 チェックデイジット検査をします。	■
 ~ C 1 1 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	4
 ~ C 1 1 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	80
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.10 コード 128 の設定

コマンドバー - コード	説明	デフォルト
 ~ 1 2 8 D F T .	コード 128 全デフォルト コード 128 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ 1 2 8 E N A 1 .	コード 128 読み取り オン GS1-128 を読み取ります。	■
 ~ 1 2 8 E N A 0 .	コード 128 読み取り オフ コード 128 を読み取りません。	
 ~ I S B E N A 1 .	ISBT 連結機能 オン ISBT 連結をします。	
 ~ I S B E N A 0 .	ISBT 連結機能 オフ ISBT 連結をしません。	■
 ~ 1 2 8 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバー - コードをスキャン後、「数値バー - コード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コードをスキャンします。	1
 ~ 1 2 8 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバー - コードをスキャン後、「数値バー - コード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コードをスキャンします。	80
数値バー - コード 表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

4.10.11 GS1-128 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ G S 1 D F T .	GS1-128 全デフォルト GS1-128 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ G S 1 E N A 1 .	GS1-128 読み取り オン GS1-128 を読み取ります。	■
 ~ G S 1 E N A 0 .	GS1-128 読み取り オフ GS1-128 を読み取りません。	
 ~ G S 1 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	1
 ~ G S 1 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	80
数値バーコード 表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定
		戻る

4.10.12 Telepen の設定

コマンドバー - コード	説明	デフォルト
 ~ T E L D F T .	<u>Telepen 全デフォルト</u> Telepen に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ T E L E N A 1 .	<u>Telepen 読み取り オフ</u> Telepen を読み取ります。	
 ~ T E L E N A 0 .	<u>Telepen 読み取り オフ</u> Telepen を読み取りません。	■
 ~ T E L O L D 0 .	<u>AIM フォーマット</u> AIM フォーマットで出力します。	■
 ~ T E L O L D 1 .	<u>オレジナルフォーマット</u> オレジナルフォーマットで出力します。	
 ~ T E L M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバー - コードをスキャン後、「数値バー - コード表」から最小桁数を1~60の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コードをスキャンします。	1
 ~ T E L M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバー - コードをスキャン後、「数値バー - コード表」から最大桁数を1~60の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コードをスキャンします。	60
数値バー - コード 表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
確定		破棄

4.10.13 UPC-A の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ U P A D F T .	<u>UPC-A 全デフォルト</u> UPC-A に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ U P A E N A 1 .	<u>UPC-A 読み取り オン</u> UPC-A を読み取ります。	■
 ~ U P A E N A 0 .	<u>UPC-A 読み取り オフ</u> UPC-A を読み取りません。	
 ~ U P A C K X 1 .	<u>チェックディジット送信 オン</u> チェックディジットを送信します。	■
 ~ U P A C K X 0 .	<u>チェックディジット送信 オフ</u> チェックディジットを送信しません。	
 ~ U P A N S X 1 .	<u>システムナンバー送信 オン</u> システムナンバーを送信します。	■
 ~ U P A N S X 0 .	<u>システムナンバー送信 オフ</u> システムナンバーを送信しません。	
 ~ U P A A D 2 1 .	<u>アドオン2読み取り オン</u> アドオン2 を読み取ります。	
 ~ U P A A D 2 0 .	<u>アドオン2読み取り オフ</u> アドオン2 を読み取りません。	■
 ~ U P A A D 5 1 .	<u>アドオン5読み取り オン</u> アドオン5 を読み取ります。	
 ~ U P A A D 5 0 .	<u>アドオン5読み取り オフ</u> アドオン5 を読み取りません。	■

	<u>アドオン必須読み取り オン</u> アドオン付 UPC-A だけを読み取ります。	
	<u>アドオン必須読み取り オン</u> アドオン無しとアドオン付の UPC-A を読み取ります。	■
	<u>アドオンセパレータ オン</u> アドオンデータの前にセパレータとして、入バースを挿入します。	
	<u>アドオンセパレータ オフ</u> 入バースを挿入しません。	■
	<u>クーポンコード 読み取り オン (必須)</u> クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読み取ります。クーポンコードと拡張クーポンコードを1スキヤソで読み取る必要があります。	
	<u>クーポンコード 読み取り オン</u> クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読み取ります。	
	<u>クーポンコード 読み取り オフ</u> クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読み取ります。	■

4.10.14 UPC-E の設定

コマンド バーコード	説明	デ イ フ オ ルト
 ~ U P E D F T .	<u>UPC-E 全デ イ フ オ ルト</u> UPC-E に関する設定を全てデ イ フ オ ルトに戻します。	
 ~ U P E E N 0 1 .	<u>UPC-E0 読み取り オン</u> 「0」で始まる UPC-E を読み取ります。	■
 ~ U P E E N 0 0 .	<u>UPC-E0 読み取り オフ</u> 「0」で始まる UPC-E を読み取りません。	
 ~ U P E E N 1 1 .	<u>UPC-E1 読み取り オン</u> 「1」で始まる UPC-E を読み取ります。	
 ~ U P E E N 1 0 .	<u>UPC-E1 読み取り オフ</u> 「1」で始まる UPC-E を読み取りません。	■
 ~ U P E E X P 1 .	<u>UPC-A 変換 オン</u> UPC-A コードに変換します。	
 ~ U P E E X P 0 .	<u>UPC-A 変換 オフ</u> UPC-A コードに変換しません。	■
 ~ U P E C K X 1 .	<u>チェックデ ィジ ット送信 オン</u> チェックデ ィジ ットを送信します。	■
 ~ U P E C K X 0 .	<u>チェックデ ィジ ット送信 オフ</u> チェックデ ィジ ットを送信しません。	
 ~ U P E N S X 1 .	<u>システムナンバー送信 オン</u> システムナンバーを送信します。	■
 ~ U P E N S X 0 .	<u>システムナンバー送信 オフ</u> システムナンバーを送信しません。	

	アドオン2読み取り オン アドオン2を読み取ります。	
	アドオン2読み取り オフ アドオン2を読み取りません。	■
	アドオン5読み取り オン アドオン5を読み取ります。	
	アドオン5読み取り オフ アドオン5を読み取りません。	■
	アドオン必須読み取り オン アドオン付 UPC-Eだけを読み取ります。	
	アドオン必須読み取り オフ アドオン無しとアドオン付の UPC-E を読み取ります。	■
	アドオンセパレータ オン アドオンデータの前にセパレータとして、入スペースを挿入します。	
	アドオンセパレータ オフ 入スペースを挿入しません。	■

4.10.15 EAN/JAN-13 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ E 1 3 D F T .	EAN/JAN-13 全デフォルト EAN/JAN-13 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ E 1 3 E N A 1 .	EAN/JAN-13 読み取り オン EAN/JAN-13 を読み取ります。	■
 ~ E 1 3 E N A 0 .	EAN/JAN-13 読み取り オフ EAN/JAN-13 を読み取りません。	
 ~ E 1 3 C K X 1 .	チェックデジット送信 オン チェックデジットを送信します。	■
 ~ E 1 3 C K X 0 .	チェックデジット送信 オフ チェックデジットを送信しません。	
 ~ E 1 3 A D 2 1 .	アドオン2読み取り オン アドオン2を読み取ります。	
 ~ E 1 3 A D 2 0 .	アドオン2読み取り オフ アドオン2を読み取りません。	■
 ~ E 1 3 A D 5 1 .	アドオン5読み取り オン アドオン5を読み取ります。	
 ~ E 1 3 A D 5 0 .	アドオン5読み取り オフ アドオン5を読み取りません。	■

	<u>アドオン必須読み取り オン</u> アドオン付 EAN/JAN-13 だけを読み取ります。	
	<u>アドオン必須読み取り オフ</u> アドオン無しとアドオン付の EAN/JAN-13 を読み取ります。	■
	<u>アドオンセパレータ オン</u> アドオンデータの前にセパレータとして、入スペースを挿入します。	
	<u>アドオンセパレータ オフ</u> 入スペースを挿入しません。	■
	<u>ISBN 変換 オン</u> ISBN 変換をします。	
	<u>ISBN 変換 オフ</u> ISBN 変換をしません。	■

4.10.16 EAN/JAN-8 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ E A 8 D F T .	EAN/JAN-8 全デフォルト EAN/JAN-8 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ E A 8 E N A 1 .	EAN/JAN-8 読み取り オン EAN/JAN-8 を読み取ります。	■
 ~ E A 8 E N A 0 .	EAN/JAN-8 読み取り オフ EAN/JAN-8 を読み取りません。	
 ~ E A 8 C K X 1 .	チェックデジット送信 オン チェックデジットを送信します。	■
 ~ E A 8 C K X 0 .	チェックデジット送信 オフ チェックデジットを送信しません。	
 ~ E A 8 A D 2 1 .	アドオン2読み取り オン アドオン2を読み取ります。	
 ~ E A 8 A D 2 0 .	アドオン2読み取り オフ アドオン2を読み取りません。	■
 ~ E A 8 A D 5 1 .	アドオン5読み取り オン アドオン5を読み取ります。	
 ~ E A 8 A D 5 0 .	アドオン5読み取り オフ アドオン5を読み取りません。	■
 ~ E A 8 A R Q 1 .	アドオン必須読み取り オン アドオン付 EAN/JAN-8 だけを読み取ります。	
 ~ E A 8 A R Q 0 .	アドオン必須読み取り オフ アドオン無しとアドオン付の EAN/JAN-8 を読み取ります。	■
 ~ E A 8 A D S 1 .	アドオンセパレータ オン アドオンデータの前にセパレータとして、入ペースを挿入します。	
 ~ E A 8 A D S 0 .	アドオンセパレータ オフ 入ペースを挿入しません。	■
 ~ E A N E M U 4 .	EAN-8→EAN-13 変換 オン EAN-8 データを EAN-13 に変換します。	

4.10.17 MSI の設定

コマンドバー - コード	説明	デフォルト
 ~ M S I D F T .	<u>MSI 全デフォルト</u> MSI に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ M S I E N A 1 .	<u>MSI 読み取り オン</u> MSI を読み取ります。	
 ~ M S I E N A 0 .	<u>MSI 読み取り オフ</u> MSI を読み取りません。	■
 ~ M S I C H K 0 .	<u>チェックデイジット オン/送信 オフ</u> チェックデイジット(タイプ 10)検査をしますが、送信は行いません。	■
 ~ M S I C H K 1 .	<u>チェックデイジット オン/送信 オン</u> チェックデイジット(タイプ 10)検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 2 .	<u>チェックデイジット 2 オン/送信 オフ</u> チェックデイジット(タイプ 10)x2 検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ M S I C H K 3 .	<u>チェックデイジット 2 オン/送信 オン</u> チェックデイジット(タイプ 10)x2 検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 4 .	<u>チェックデイジット 2-10/11 オン/送信 オフ</u> チェックデイジット(タイプ 10) & (タイプ 11) 検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ M S I C H K 5 .	<u>チェックデイジット 2-10/11 オン/送信 オン</u> チェックデイジット(タイプ 10) & (タイプ 11) 検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 6 .	<u>チェックデイジット 無し</u> チェックデイジット検査を行いません。	

	<u>最小行数 設定開始</u> 左記の「マント バーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最小行数を4~48の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
	<u>最大行数 設定開始</u> 左記の「マント バーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最大行数を4~48の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	48
<u>数値バーコード表</u>		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

4.10.18 GS1 Databar Omnidirectional の設定

コマンドバー - コード	説明	デフォルト
 ~ R S S D F T .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>全デフォルト</u> GS1 Databar Omnidirectional に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S S E N A 1 .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>読み取り オン</u> GS1 Databar Omnidirectional を読み取ります。	■
 ~ R S S E N A 0 .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>読み取り オフ</u> GS1 Databar Omnidirectional を読み取りません。	

4.10.19 GS1 Databar Limited の設定

コマンドバー - コード	説明	デフォルト
 ~ R S L D F T .	<u>GS1 Databar Limited</u> <u>全デフォルト</u> GS1 Databar Limited に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S L E N A 1 .	<u>GS1 Databar Limited</u> <u>読み取り オン</u> GS1 Databar Limited を読み取ります。	■
 ~ R S L E N A 0 .	<u>GS1 Databar Limited</u> <u>読み取り オフ</u> GS1 Databar Limited を読み取りません。	

4.10.20 GS1 Databar Expanded の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ R S E D F T .	<u>GS1 Databar Expanded</u> <u>全デフォルト</u> GS1 Databar Expanded に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S E E N A 1 .	<u>GS1 Databar Expanded</u> <u>読み取り オン</u> GS1 Databar Expanded を読み取ります。	■
 ~ R S E E N A 0 .	<u>GS1 Databar Expanded</u> <u>読み取り オフ</u> GS1 Databar Expanded を読み取りません。	
 ~ R S E E M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を4~74の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ R S E E M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を4~74の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	74
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定
		破棄

4.10.21 GS1 エミュレーションの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ E A N E M U 0 .	<u>GS1 エミュレーション 無し</u> GS1 エミュレーションを行いません。	■
 ~ E A N E M U 1 .	<u>GS1-128 エミュレーション有り</u> 全リテールコード (UPC/EAN/JAN)は、16 桁に拡張され、AIM ID が有効であれば、読み取データの先頭に AIM ID の]C1 を付加します。	
 ~ E A N E M U 2 .	<u>GS1 Databar エミュレーション 有り</u> 全リテールコード (UPC/EAN/JAN)は、16 桁に拡張され、AIM ID が有効であれば、読み取データの先頭に AIM ID の]e0 を付加します。	

4.11 スタックソボルの読み取り設定

4.11.1 Trioptic コード の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ T R I E N A 1 .	<u>Trioptic コード 読み取り オン</u> Trioptic コード を読み取ります。	
 ~ T R I E N A 0 .	<u>Trioptic コード 読み取り オフ</u> Trioptic コード を読み取りません。	■

- Trioptic コード は、磁気記録媒体のラベル表示に使用されています。
- コード 32(PARAF)を読み取る場合は、必ず Trioptic コード の読み取りをオフにしてください。(本書「4.10.2 コード 39 の設定」参照)

4.11.2 コード ブロック A の設定

コマンドバー - コード	説明	デフォルト
 ~ C B A D F T .	コード ブロック A 全デフォルト コード ブロック A に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C B A E N A 1 .	コード ブロック A 読み取り オン コード ブロック A を読み取ります。	
 ~ C B A E N A 0 .	コード ブロック A 読み取り オフ コード ブロック F を読み取りません。	■
 ~ C B A M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバー - コード をスキャン後、「数値バー - コード 表」から最小桁数を1~600 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コード をスキャンします。	1
 ~ C B A M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバー - コード をスキャン後、「数値バー - コード 表」から最大桁数を1~600 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コード をスキャンします。	600

数値バー - コード 表

 0	 1
 2	 3
 4	 5
 6	 7
 8	 9
 確定	 破棄

4.11.3 コーダ ブ ロック F の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ C B F D F T .	コーダ ブ ロック F 全デフォルト コーダ ブ ロック F に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C B F E N A 1 .	コーダ ブ ロック F 読み取り オン コーダ ブ ロック F を読み取ります。	
 ~ C B F E N A 0 .	コーダ ブ ロック F 読み取り オフ コーダ ブ ロック F を読み取りません。	■
 ~ C B F M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~2,048の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ C B F M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~2,048の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	2,048
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.11.4 PDF417 の設定

コマンドバー - コード	説明	デフォルト
 ~ P D F D F T .	<u>PDF417 全デフォルト</u> PDF417に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ P D F E N A 1 .	<u>PDF417 読み取り オフ</u> PDF417を読み取ります。	■
 ~ P D F E N A 0 .	<u>PDF417 読み取り オフ</u> PDF417を読み取りません。	
 ~ P D F M I N .	<u>最小行数 設定開始</u> 左記の「マントバー - コード」をスキャン後、「数値バー - コード表」から最小行数を1~2,750の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コードをスキャンします。	1
 ~ P D F M A X .	<u>最大行数 設定開始</u> 左記の「マントバー - コード」をスキャン後、「数値バー - コード表」から最大行数を1~2,750の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コードをスキャンします。	2,750
数値バー - コード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定
		破棄

4.11.5 マイクロ PDF417 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ M P D D F T .	マイクロ PDF417 全デフォルト マイクロ PDF417 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ M P D E N A 1 .	マイクロ PDF417 読み取り オフ マイクロ PDF417 を読み取ります。	
 ~ M P D E N A 0 .	マイクロ PDF417 読み取り オフ マイクロ PDF417 を読み取りません。	■
 ~ M P D M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~366 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ M P D M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~366 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	366
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定		 破棄

4.11.6 GS1 コンポジットの設定

コマンドバー - コード	説明	デフォルト
 ~ C O M E N A 1 .	<u>GS1 コンポジット読み取り オン</u> GS1 コンポジットを読み取ります。	
 ~ C O M E N A 0 .	<u>GS1 コンポジット読み取り オフ</u> GS1 コンポジットを読み取りません。	■
 ~ C O M U P C 1 .	<u>UPC/EAN コンポジット読み取り オン</u> UPC 及び EAN コンポジットを読み取ります。(この設定は、GS1-128 及び GS1 Databar からなるコンポジットコードには影響しません。)	
 ~ C O M U P C 0 .	<u>UPC/EAN コンポジット読み取り オフ</u> UPC 及び EAN コンポジットを読み取りません。(この設定は、GS1-128 及び GS1 Databar からなるコンポジットコードには影響しません。)	■
 ~ C O M M I N .	<u>最小行数 設定開始</u> 左記のコマンドバー - コードをスキャン後、「数値バー - コード表」から最小行数を 1~2,435 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コードをスキャンします。	1
 ~ C O M M A X .	<u>最大行数 設定開始</u> 左記のコマンドバー - コードをスキャン後、「数値バー - コード表」から最大行数を 1~2,435 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コードをスキャンします。	2,435
数値バー - コード 表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定
		破棄

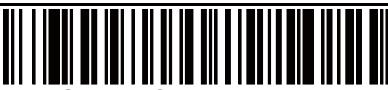
4.11.7 TLC39 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ T 3 9 E N A 1 .	<u>TLC39 読み取り オン</u> TLC39(TCIF Linked Code39) を読み取ります。	
 ~ T 3 9 E N A 0 .	<u>TLC39 読み取り オフ</u> TLC39(TCIF Linked Code39) を読み取りません。	■

TLC39 は、コード 39 とマイクロ PDF417 から成るスタッツимвルです。

4.12 マトリクスシンボルの読み取り設定

4.12.1 QR/マイクロQRの設定

コマンドバー-コード	説明	デフォルト
 ~ Q R C D F T .	<u>QR/マイクロQR全デフォルト</u> QR/マイクロQRに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ Q R C E N A 1 .	<u>QR/マイクロQR読み取りオフ</u> QR/マイクロQRを読み取ります。	■
 ~ Q R C E N A 0 .	<u>QR/マイクロQR読み取りオフ</u> QR/マイクロQRを読み取りません。	
 ~ Q R C M I N .	<u>最小行数設定開始</u> 左記の「コマンドバー-コード」をスキャン後、「数値バー-コード表」から最小行数を1~7,089の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー-コードをスキャンします。	1
 ~ Q R C M A X .	<u>最大行数設定開始</u> 左記の「コマンドバー-コード」をスキャン後、「数値バー-コード表」から最大行数を1~7,089の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー-コードをスキャンします。	7,089
数値バー-コード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定		 破棄

4.12.2 データマトリクスの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ I D M D F T .	データマトリクス全デフォルト データマトリクスに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ I D M E N A 1 .	データマトリクス読み取り オン データマトリクスを読み取ります。	■
 ~ I D M E N A 0 .	データマトリクス読み取り オフ データマトリクスを読み取れません。	
 ~ I D M M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最小桁数を1~3,116 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	1
 ~ I D M M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最大桁数を1~3,116 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	3,116
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.12.3 マキシコード の設定

コマンドバー - コード	説明	デフォルト
 ~ M A X D F T .	<u>マキシコード 全デフォルト</u> マキシコードに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ M A X E N A 1 .	<u>マキシコード 読み取り オン</u> マキシコードを読み取ります。	■
 ~ M A X E N A 0 .	<u>マキシコード 読み取り オフ</u> マキシコードを読み取りません。	
 ~ M A X M I N .	<u>最小行数 設定開始</u> 左記の「マキシコード」をスキャン後、「数値バー - コード 表」から最小行数を1~150の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コード をスキャンします。	1
 ~ M A X M A X .	<u>最大行数 設定開始</u> 左記の「マキシコード」をスキャン後、「数値バー - コード 表」から最大行数を1~150の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー - コード をスキャンします。	150
数値バー - コード 表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

4.12.4 Aztec の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ A Z T D F T .	Aztec 全デフォルト Aztec に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ A Z T E N A 1 .	Aztec 読み取り オン Aztec を読み取ります。	■
 ~ A Z T E N A 0 .	Aztec 読み取り オフ Aztec を読み取りません。	
 ~ A Z T M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~3,832の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ A Z T M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~3,832の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3,832
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定		 破棄

4.13 郵便シボルの読み取り設定

4.13.1 2D 郵便シボルの設定

2D 郵便シボルは、一度に 1 種のみ読み取りを有効にすることができます。複数種の 2D 郵便シボルを読み取る必要がある場合は、弊社までご相談ください。

コマンドバー - コード	説明	デフォルト
全ての 2D 郵便シボル読み取りを無効にする		
 ~ N E T E N A 1 .	<u>全 2D 郵便シボル オフ</u> 全ての 2D 郵便シボルを読み取りません。	■
1 つの 2D 郵便シボル読み取りを有効にする		
 ~ P O S T A L 1 .	<u>オーストラリア郵便シボル読み取り オン</u> オーストラリア郵便シボルを読み取ります。	
 ~ P O S T A L 7 .	<u>英国郵便シボル読み取り オン</u> 英国郵便シボルを読み取ります。	
 ~ P O S T A L 3 0 .	<u>カナダ郵便シボル読み取り オン</u> カナダ郵便シボルを読み取ります。	
 ~ P O S T A L 3 .	<u>日本郵便シボル読み取り オン</u> 日本郵便シボル(カスタマバーコード)を読み取ります。	
 ~ P O S T A L 4 .	<u>KIX 郵便シボル読み取り オン</u> KIX 郵便シボルを読み取ります。	
 ~ P O S T A L 5 .	<u>Planet 郵便シボル読み取り オン</u> Planet 郵便シボルを読み取ります。	
 ~ P O S T A L 6 .	<u>Postnet 郵便シボル読み取り オン</u> Postnet 郵便シボルを読み取ります。	

4.13.2 中国郵便コード の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ C P C D F T .	中国郵便コード 全デフォルト 中国郵便コードに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C P C E N A 1 .	中国郵便コード 読み取り オ 中国郵便コードを読み取ります。	
 ~ C P C E N A 0 .	中国郵便コード 読み取り オ 中国郵便コードを読み取れません。	■
 ~ C P C M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ C P C M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定		 破棄

4.13.3 韓国郵便コードの設定

コマンドバー-コード	説明	デフォルト
	韓国郵便コード全デフォルト 韓国郵便コードに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
	韓国郵便コード読み取り オン 韓国郵便コードを読み取ります。	
	韓国郵便コード読み取り オフ 韓国郵便コードを読み取りません。	■
	<u>最小行数 設定開始</u> 左記のコマンドバー-コードをスキャン後、「数値バー-コード表」から最小行数を2~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー-コードをスキャンします。	4
	<u>最大行数 設定開始</u> 左記のコマンドバー-コードをスキャン後、「数値バー-コード表」から最大行数を2~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バー-コードをスキャンします。	48
数値バー-コード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定
		破棄

Blank page

5. シリアルコマンド

シリアルコマンド を使うことで、パラメータの設定や取得、シリアルリンク制御、イメージ取り込みなどを行うことが可能になります。

5.1 メニューコマンド

メニュー コマンド は、パラメータ設定や取得を行うためのコマンド 群です。下記にメニュー コマンド フォーマットを示します。

シリフィックス [:イメージ ャ名:] タグ サブタグ データ ,サブタグ データ ;タグ サブタグ データ メモリ

* [] は、省略可能なオプションフィールド です。

シリフィックス フィールド

<SYN>M<CR> 固定です。(<SYN>=16hex, M=4Dhex, <CR>=0Dhex)

:イメージ ャ名: フィールド

特定のイメージ ャにメニュー コマンド を送信したい場合に、:Xenon: などイメージ ャ名をコロンで囲んで指定します。イメージ ャ名が分からぬ場合は、ワイルドカード * を指定することもできます。

タグ フィールド

メニュー コマンド のカテゴリを識別する 3 キャラクタです。例えば、RS232C 関連のメニュー コマンド のタグ は、232 です。

サブタグ フィールド

タグ グループ 内のパラメータ項目を識別する 3 キャラクタです。例えば、RS232C のポート は、BAD です。

データ フィールド

パラメータの設定を行う場合は、新しい設定値を指定します。設定できる値はメニュー コマンド により異なります。

パラメータの設定値や設定範囲を取得しようとする場合は、下記に示す何れかのキャラクタを指定します。

^(5Ehex) ディフォルト設定を取得

?(3Fhex) 現在の設定を取得

*(2Ahex) 設定範囲を取得

(* 連続値は - で区切られ、不連続値は | で区切られます)

メモリフィールド

設定値の保存先又は取得先を指定します。揮発性 RAM メモリ領域を保存先/取得先にする場合は、「!」(21hex)を指定し、不揮発性メモリを保存先/取得先にする場合は、「.」(2Ehex)を指定します。不揮発性メモリを保存先にした場合、電源を落としても設定値は消えません。

タグ フィールド, サブタグ フィールド, データ フィールド の値は、本書「4.パラメータ設定」に掲載しているコマンド バーコード のヒューマンリーダブルキャラクタを参照してください。



複数メニュー命令の連結

1つのメニュー命令フォーマット内で複数のメニュー命令を指定する場合は、下記に示す何れかのセパレータで区切れます。

セパレータ	説明
,(2Chex)	同じタググループのメニュー命令を続けて指定する場合は、カンマで区切り、サブタグフィールドとデータフィールドを指定します。
;(3Bhex)	異なるタググループのメニュー命令を続けて指定する場合は、セミコロンで区切り、タグフィールド～データフィールドを指定します。

レスポンスキャラクタ

メニュー命令を受信すると、下記に示す何れかのレスポンスキャラクタを返します。

レスポンス	説明
ACK(06hex)	正しくコマンドを実行したことを意味します。
ENQ(05hex)	タグフィールド又はサブタグフィールドの指定値が無効です。
NAK(15hex)	データフィールドの指定値が範囲外です。

パラメータ設定値の取得例

例 1) コーダ ハー(=NW7)読み取りの初期値を取得

```
メニュー命令 : cbrena^
レスポンス : CBRENA1<ACK>
* <ACK> = 06hex
初期値が 1 であることが分かります。
```

例 2) コーダ ハー(=NW7)に関する全設定値を取得

```
メニュー命令 : cbr?
レスポンス : CBRENA1<ACK>,
SSX0<ACK>,
CK20<ACK>,
CCT1<ACK>,
MIN2<ACK>,
MAX60<ACK>,
DFT<ACK>.
* <ACK> = 06hex
```

5.2 シリアルトリガ コマンド

下記のシリアルトリガ コマンドを発行することで、ワイヤレスイメージャの読み取り開始・終了をコントロールすることができます。「4.8.1 マニュアル/シリアルトリガ モード の設定」を参照下さい。

<SYN> T <CR>	読み取りを開始します。
<SYN> U <CR>	読み取りを終了します。
* <SYN> = 16hex, <CR> = 0Dhex	

5.3 イメージ ソグ コマンド

イメージャは、下記に示すイメージ ソグ コマンドに適切なモード イファイアを指定して発行することで、イメージの取り込みを行います。一度、イメージ取り込みが終了すると、イメージャは全ての設定をデフォルト値に戻します。デフォルト値を変更したい場合は、「5.4 イメージ ソグ デフォルトコマンド」を参照して、シリアルコマンドを発行してください。

IMGSNP イメージ スナップ[®]

イメージの取り込みは、イメージャのトリガを引いた時及びイメージ スナップコマンド (IMGSNP) が発行された時に行われます。イメージ スナップは、イメージキャプチャ及び写真撮影のコマンド[®]セッサになります。

イメージ スナップコマンドには、修正されたイメージを修正・加工するための多くのモード イファイアが用意されています。

モード イファイアは、常に数字で始まり、アルファベット(大文字・小文字の区別無し)で終わるフォーマットです。イメージ スナップコマンド (IMGSNP) に続けて、必要なモード イファイアを指定します。例えば、ゲインを中・ビープ音を1回鳴動(スナップ完了後)させる場合、IMGSNPコマンドは、下記のようになります。

IMGSNP2G1B

IMGSNP モード イファイア

P : イメージ ソグ スタイル

イメージ スナップスタイルを指定します。

0P テコ-テイシグ スタイル

テコ-用の一般的なフォーマットと類似していますが、撮影パラメータに合うまで数フレームを取り込めます。最後に取り込んだフレームを後で利用することができます。

1P フォトスタイル(デフォルト)

イメージアラカルトのように利用できるスタイルで、視覚的に最適化されたイメージを取り込めます。

2P マニュアルスタイル

これは高度なスタイルとなるため、通常は使用しないでください。イメージャを自由に設定できますが、自動撮影機能はありません。

B : ビーピー

スナップ完了後、ビーピーを鳴動するかを指定します。

0B ビーピーを鳴動しません。(デフォルト)

1B イメージ取り込み後、ビーピーを鳴動します。

T : トリガ待ち

トリガが押されるのを待って、イメージの取り込みを行うのかを指定します。

(このモードは、フォトスタイルのみ有効です。)

0T イメージをすぐに(トリガ待ち無し)取り込みます。(デフォルト)

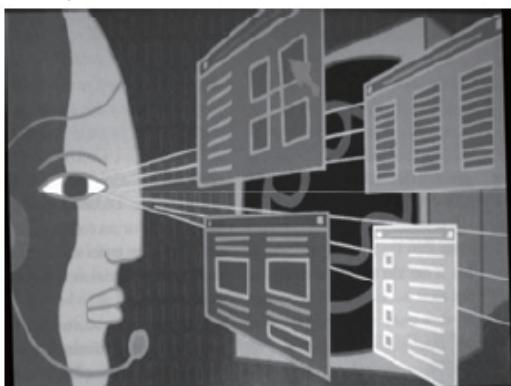
1T トリガが押されるのを待って、イメージを取り込みます。

E : 露出時間

露出時間を $127 \mu\text{秒}$ 単位で指定します。(このモードは、マニュアルスタイルのみ有効です。)

nE n を 1~7,874 の範囲で指定します。(デフォルト 7,874)

例 1) 蛍光灯下 : 露出時間 7874E



例 2) 蛍光灯下 : 露出時間 100E



G : ゲイン

ゲインを増幅し、ピクセル値を倍増させるかを指定します。(このモードは、マニュアルスタイルのみ有効です。)

1G ゲイン無し(デフォルト)

2G ゲイン中

4G ゲイン大

8G ゲイン最大

例 1) ゲイン : 1G



例 2) ゲイン : 4G



例 3) ゲイン : 8G



W : ターゲットオフセット値

取り込んだイメージのグレースケール中央値のターゲット値を指定します。コントラストの高い文書を接写する場合は、75のような低い値を指定します。値を大きくすると、露出時間が長くなり、明るいイメージになりますが、高すぎると、露出オーバーになります。(このモディファイアは、フォトスタイルのみ有効です。)

nW n を 0~255 の範囲で指定します。(デフォルト 125)

例1) オフセット値 : 75W



例2) オフセット値 : 125W



例3) オフセット値 : 200W

**D : 許容デルタ**

オフセット値(W : ターゲットオフセット値)の許容範囲を指定します。(このモディファイアは、フォトスタイルのみ有効です。)

nD n を 0~255 の範囲で指定します。(デフォルト 255)

U : アップデータトライ回数

許容デルタを達成するために取り込みを行う最大フレーム数を指定します。(このモディファイアは、フォトスタイルのみ有効です。)

nU n を 0~10 の範囲で指定します。(デフォルト 6)

L : LED ブート

読取 LED を照射するか、しないかを指定します。オートストップに設置して、ID カードのようなカード文書のイメージを取り込む場合は、周囲照明(OL)を指定し、手持ちでイメージを取り込む場合は、読取 LED を照射(1L)します。(このモディファイアは、デコードイングスタイルには使えません。)

0L 読取 LED を照射しません。(デフォルト)

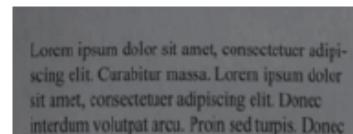
1L 読取 LED を照射します。

% : ターゲットセットボイント

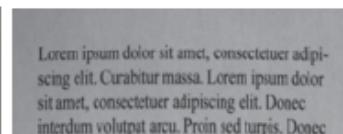
取り込んだイメージのライト値とダーク値のターゲットボイントをパーセンテージで指定します。75%を指定した場合、75%のピクセルがターゲットボイント値以下で、25%がターゲットボイント値より上であるという意味になります。通常、このモディファイアは、デフォルト値でお使い下さい。

n% n を 1~99 の範囲で指定します。(デフォルト 50)

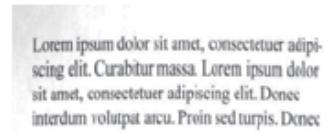
例 1) セットボイント : 97%



例 2) セットボイント : 50%



例 3) セットボイント : 40%



IMGSHP

イメージシップ

イメージの取り込みは、イメージのトリガを引いた時及びイメージスナップコマンド(IMGSNP)が発行された時に行われ、最後に取り込んだイメージが常にイメージャにメモリされています。

イメージシップコマンドには、送信イメージを修正・加工するための多くのモディファイアが用意されています。イメージシップコマンドで行われるイメージの修正・加工はあくまでも送信イメージに対して行われるもので、イメージャがメモリしているイメージには影響を与えません。

モディファイアは、常に数字で始まり、アルファベット(大文字・小文字の区別無し)で終わるフォーマットです。イメージシップコマンド(IMGSHP)に続けて、必要なモディファイアを指定します。例えば、ガソマ補正・文書イメージフィルタを行ったイメージを送信させる場合、IMGSHPコマンドは、下記のようになります。

IMGSNP;IMGSHP8F75K26U

IMGSHP モディファイア

A : イソフィニティフィルタ

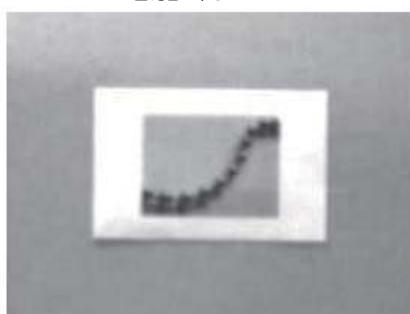
長距離(3m以上)から撮影されたイメージの画像を高めるフィルタです。

0A イソフィニティフィルタを使用しません。(デフォルト)

1A イソフィニティフィルタを使用します。

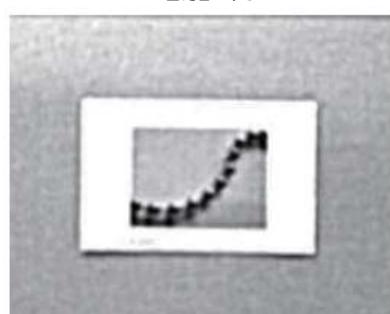
例 1) イソフィニティフィルタ : 0A

@ 距離 約 3.66m



例 2) イソフィニティフィルタ : 1A

@ 距離 約 3.66m



C : 光沢補正

照明の変化によるイメージへの光沢を平滑補正します。

- 0C** 光沢補正を使用しません。(デフォルト)
- 1C** 光沢補正を使用します。

例 1) 光沢補正 : 0C



例 2) 光沢補正 : 1C

D : グレースケール

送信イメージをグレースケールにするか、白黒にするかを指定します。(このモードは、KIM と BMP フォーマットのみ有効です。)

- 8D** グレースケール(8ビット/ピクセル)で送信します。(デフォルト)
- 1D** 白黒(1ビット/ピクセル)で送信します。

E : エッジシャープフィルタ

送信イメージのエッジをシャープにするかを指定します。24が一番エッジがシャープになりますが、ノイズも多くなります。通常のイメージには、13程度の値を使用します。

nE n を 0~24 の範囲で指定します。(デフォルト 0)

例 1) エッジフィルタ : 0E



例 2) エッジフィルタ : 24E



F : ファイルフォーマット

送信イメージのファイルフォーマットを指定します。

0F KIM

1F TIFF バイナリ

2F TIFF バイナリ グループ 4, 圧縮

3F TIFF グレースケール

4F 非圧縮バイナリ TIFF(左上~右下, 1ピクセルビット, 最終行0詰め)

5F 非圧縮グレースケール(左上~右下, ビットマップフォーマット)

6F JPEG イメージ(デフォルト)

8F BMP イメージ(右下~左上, 圧縮無し)

H : ヒストグラムストレッチ

送信イメージのコントラストを高めます。(このモードは、幾つかのイメージフォーマットでは無効です。)

0H ヒストグラムストレッチを使用しません。(デフォルト)

1H ヒストグラムストレッチを使用します。

例 1) ヒストグラムストレッチ : 0H



例 2) ヒストグラムストレッチ : 1H



I: イメージ 反転

送信イメージをX軸又はY軸に対して反転させます。

1iX X軸に対して、反転させます。(上下反転)

1iY Y軸に対して、反転させます。(左右反転)

例 1) オリジナル画像



例 2) イメージ 反転 : 1ix



例 3) イメージ 反転 : 1iY

IF: ノイズ 除去

送信イメージのノイズを除去します。

0if ノイズを除去します。(デフォルト)

1if ノイズを除去しません。

例 1) ノイズ 除去 : 0if



例 2) ノイズ 除去 : 1if



IR : イメージ 回転

送信イメージを回転させます。

0ir 回転させません。

1ir 右 90° 回転させます。

2ir 右 180° 回転させます。

3ir 左 90° 回転させます。

例 1) イメージ 回転 : 0ir



例 2) イメージ 回転 : 1ir



例 3) イメージ 回転 : 2ir



例 4) イメージ 回転 : 3ir



J : JPEG イメージ 品質

送信したい JPEG イメージ 品質を指定します。高い値を指定すると、イメージは高画質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。逆に低い値を指定すると、画質は悪くなりますが、ファイルサイズが小さくなり、送信時間も短くなります。

nJ n を 0~100 の範囲で指定します。(デフォルト 50)

K : ガソラ補正

送信イメージのガソラ補正值を指定します。高い値を指定すると、イメージはより明るくなり、低い値を指定すると、イメージはより暗くなります。
デフォルトイメージを補正する場合の推奨補正值は、50 です。

nK n を 0~1000 の範囲で指定します。(デフォルト 0)

例 1) ガソラ補正 : 0K



例 2) ガソラ補正 : 50K



例 3) ガソラ補正 : 255K

L, R, T, B : イメージトリミング

送信イメージをトリミング(切り取り)する座標をピクセルで指定します。

nL n を 0~1279 の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの左座標になります。(デフォルト 0)

nR n を 0~1279 の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの右座標になります。

(デフォルト 最大値 *機種により異なります(Xenon=835))

nT n を 0~959 の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの上座標になります。(デフォルト 0)

nB n を 0~959 の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの下座標になります。

(デフォルト 最大値 *機種により異なります(Xenon=639))

M : イメージトリミングマージン

イメージトリミング(L, R, T, B)の代わりに、送信イメージの外側からトリミングするマージンをピクセルで指定し、囲まれた中央部の画像を送信イメージとします。

nM n を 0~238 の範囲で指定します。左から n ピクセル、右から n+1 ピクセル、上から n ピクセル、下から n+1 ピクセルで囲まれた部分をトリミングします。

P : プロトコル

イメージ送信に使用するプロトコルを指定します。

0P プロトコル 無し(生データ)

2P プロトコル 無し(USB のデフォルト)

3P H-MODEM 圧縮(RS232C のデフォルト)

4P H-MODEM

S : ピ° クセル送信

イメージ のピ° クセル送信規則を指定します。例えば、3 を指定した場合、イメージ の水平・垂直 3ピ° クセル毎に送信するため、間のピ° クセルが間引かれ、画像が小さくなります。

1S 全ピ° クセルを送信します。

2S 水平・垂直 2ピ° クセル毎に送信します。(デ イフォルト)

3S 水平・垂直 3ピ° クセル毎に送信します。

例 1) ピ° クセル送信 : 1S



例 2) ピ° クセル送信 : 2S



例 3) ピ° クセル送信 : 3S



U : テキストイメージ フィルタ

送信テキストイメージ のイッジ 間を滑らかにし、イッジ をシャープ にします。テキストイメージ フィルタは、ID カード や処方箋などのイメージ 取り込みに有効で、イメージ ハをオーバーストロード に設置して、先のが ソマ補正と一緒に使用します。下記に IMGSHP コマンド の例を示します。

IMGSNP1P0L168W90%32D

テキストイメージ フィルタは、通常のイッジ フィルタ(E)より良質の JPEG 圧縮イメージ を提供します。また、このフィルタは、白黒イメージ (1 ビット/ピクセル)にも最適です。このフィルタの推奨値は、23 です。

nU n を 0~255 の範囲で指定します。指定された n をグレースケールスレッシュ ルド として、テキストイメージ フィルタを実行します。通常、イメージ のコントラストが低い場合は、小さい値を指定します。このフィルタの 1 が、イッジ フィルタの 22 と同等の効果があります。(デ イフォルト 0)

例 1) テキストイメージ フィルタ : 0U



例 2) テキストイメージ フィルタ : 26U



V: イメージぼかし効果

送信イメージにぼかし効果を行うかを指定します。

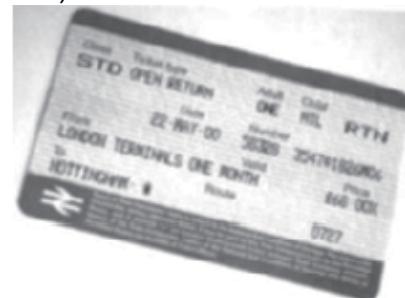
0V ぼかし効果を行いません。(デフォルト)

1V ぼかし効果を行います。

例 1) イメージぼかし効果 : 0V



例 2) イメージぼかし効果 : 1V

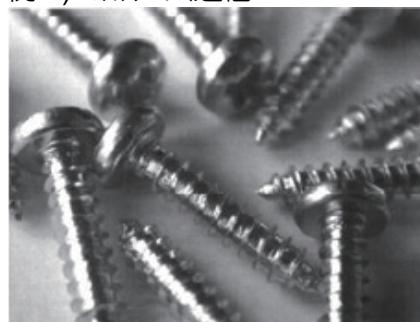
W: ヒストグラム送信

送信イメージのヒストグラムを送信するかを指定します。ヒストグラムはイメージの色調・キー・タイプを知るために役立ちます。ローキー・タイプは、影掛けたイメージ、ハイキー・タイプは、明るい光輝なイメージ、マーレージ・キー・タイプは、その中間的な色調のイメージになります。

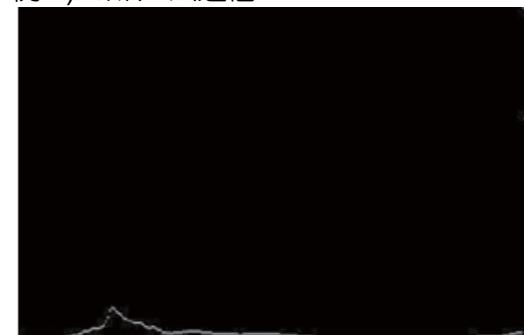
0W ヒストグラム送信を行いません。(デフォルト)

1W ヒストグラム送信を行います。

例 1) ヒストグラム送信 : 0W



例 2) ヒストグラム送信 : 1W



コマンドバーコード	説明	デフォルト
~ I M G V G A 1 .	イメージサイズ 640x480 ピクセル(VGA)	■
~ I M G V G A 0 .	イメージサイズ ネイティブサイズ	

IMGBOXインテリジェントサインキャプチャ

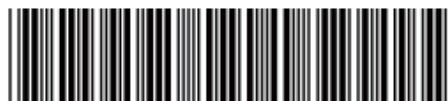
インテリジェントサインキャプチャは、コードに隣接する指定領域のイメージをホストへ送信する機能です。これにより、ファイルサイズを縮小し、転送速度を高めます。IMGBOX コマンドには、取り込みたいイメージ領域のサイズ、コードからの垂直・水平方向の距離の指定が必要です。また、最終的に出力するファイルフォーマットや解像度なども同時に指定することができます。

頻繁にインテリジェントサインキャプチャを行う場合は、最適化を有効することをお奨めします。但し、最適化を有効にすると、コードの読み取り速度は若干遅くなります。

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ D E C B N D 1 .	最適化 有効	
 ~ D E C B N D 0 .	最適化 無効	■

下記にインテリジェントサインキャプチャを利用した、サイン取り込みを行う例を示します。

イメージをサイン領域の中央に照射し(バーコードに合わせない)、トリガを引いて、コード 128 を読み取ります。グッドリードブザーが鳴動し、読み取ったデータはホストへ送信されます。これで IMGBOX コマンド発行の準備が整いました。IMGBOX コマンドを発行してサイン領域を取り込みます。



Signature Capture Area

ここで重要なのは、IMGBOX コマンドで指定するサイズがバーコードの細いレメントサイズを基準にした値である点です。バーコードの最小レメントを基準にすることで、イメージの距離に関係することなく、目的のサインイメージがあるエリアを常に正しく取り込むことが可能になります。この例では、下記の IMGBOX コマンドを発行します。

IMGBOX245w37h55y

例) 取り込んだ画像イメージ

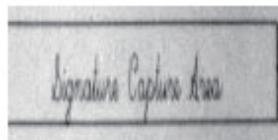
Signature Capture Area

IMGBOX コマンドは、PDF417, ユード 39, ユード 128, Aztec, ユーダバード(NW7), インタリーブード 25 との組み合わせでのみ使用できます。これらのユードが読み込まれると、イメージは、IMGBOX コマンドのために、イメージ画像を保持します。

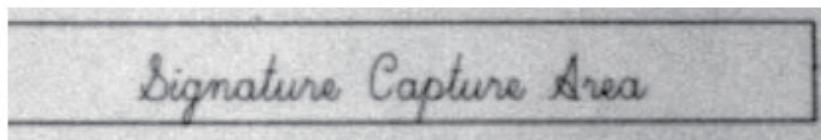
IMGBOX モデ イファイア**A : 出力イメージ 幅**

送信イメージの水平方向のサイズ(幅)を指定します。このオプションを指定する場合は、サインイメージ 解像度 R で 0(ゼロ)を指定して下さい。

例 1) 出力イメージ 幅 : 200A

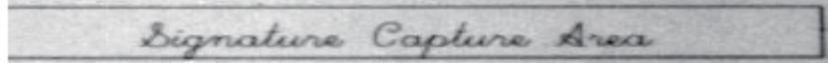


例 1) 出力イメージ 幅 : 600A

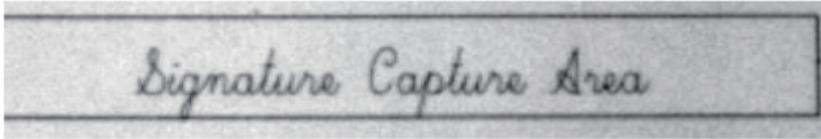
**B : 出力イメージ 高**

送信イメージの垂直方向のサイズ(高さ)を指定します。このオプションを指定する場合は、サインイメージ 解像度 R で 0(ゼロ)を指定して下さい。

例 1) 出力イメージ 幅 : 50B



例 1) 出力イメージ 幅 : 100B

**D : グレースケール**

送信イメージをグレースケールにするか、白黒にするかを指定します。

8D グレースケール(8ビット/ピクセル)で送信します。(デフォルト)

1D 白黒(1ビット/ピクセル)で送信します。

F : ファイルフォーマット

送信イメージのファイルフォーマットを指定します。

0F KIM

1F TIFF バイナリ

2F TIFF バイナリ グループ 4, 圧縮

3F TIFF グレースケール

4F 非圧縮バイナリ TIFF(左上~右下, 1ピクセル/ピット, 最終行0詰め)

5F 非圧縮グレースケール(左上~右下, ピットマップフォーマット)

6F JPEG イメージ (デフォルト)

8F BMP イメージ (右下~左上, 圧縮無し)

H : サイズイメージエリアの高さ

サイズイメージエリアの高さを指定します。測定単位は、1インチを0.01で割った値になります。例えば、高さ3/8インチのエリアを取り込みたい場合、 $0.375/0.01 = 37.5$ となるので、37hを指定します。

nh nにサイズイメージエリアの高さを指定します。

IMGBOX245w37h55y.

K : ガソマ補正

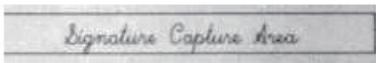
送信イメージのガソマ補正值を指定します。高い値を指定すると、イメージはより明るくなり、低い値を指定すると、イメージはより暗くなります。キストイメージを補正する場合の推奨補正值は、50です。

nK nを0~255の範囲で指定します。(デフォルト0)

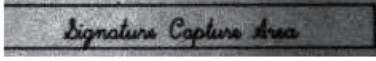
例1) ガソマ補正 : 0K



例2) ガソマ補正 : 50K



例3) ガソマ補正 : 255K

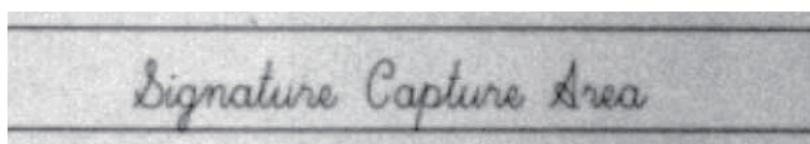


R : サイズイメージ 解像度

取得したいサイズイメージの解像度をピクセル数で指定します。大きい値を指定すると、解像度の高いイメージを取得できますが、ファイルサイズが大きくなり、転送時間が遅くなります。

nR nにサイズイメージの解像度を指定します。

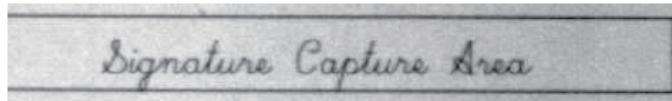
例1) サイズイメージ 解像度: 0R



例2) サイズイメージ 解像度: 1000R



例3) サイズイメージ 解像度: 2000R



S : バーコード 縦横比

バーコードの高さと細エレメントの比率を指定します。先の例では、細エレメントが 0.010 インチ(0.254mm)、高さが 0.400 インチ(10.16mm)なので、 $S=0.400/0.010=40$ となります。

nS n にバーコード 縦横比を指定します。

W : サインイメージ エリアの幅

サインイメージ エリアの幅を指定します。測定単位は、インチを 0.01 で割った値になります。例えば、幅 2.4 インチのエリアを取り込みたい場合、 $2.4/0.01 = 240$ となるので、240w を指定します。

nH n にサインイメージ エリアの幅を指定します。

IMGBOX245w37h55y.

X : バーコード 水平オフセット

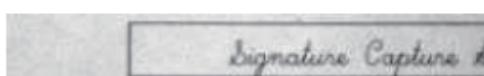
サインイメージ エリアの中心から見たバーコード 位置を水平オフセット値として指定します。先の例では、0 となります。

nX n にバーコード 水平オフセット値を指定します。

例 1) バーコード 水平オフセット : 75X



例 2) バーコード 水平オフセット : -75X

Y : バーコード 垂直オフセット

サインイメージ エリアの中心から見たバーコード 位置を垂直オフセット値として指定します。先の例では、細エレメントが 0.010 インチ(0.254mm)で、サインイメージ エリアの中心から垂直に 0.7 インチ(17.78mm)の位置にバーコード があるので、 $Y=0.7/0.01=70$ となります。

nY n にバーコード 垂直オフセット値を指定します。

例 1) バーコード 垂直オフセット : -7Y

例 2) バーコード 垂直オフセット : 65Y

5.4 イメージング ディフォルトコマンド

イメージング ディフォルトコマンド			
カテゴリ	設定内容	シリアルコマンド # = ()内の数値が入ります。	デフォルト
IMGSNP	全イメージング コマンド ディフォルト	IMGDFT	
	イメージング スタイル : デコード イング	SNPSTY0	
	イメージング スタイル : フォト	SNPSTY1	■
	イメージング スタイル : マニュアル	SNPSTY2	
	ピーブ : オン	SNPBEP1	
	ピーブ : オフ	SNPBEP0	■
	トリガ 待ち : 無し	SNPTRG0	■
	トリガ 待ち : 有り	SNPTRG1	
	LED ステート : オフ	SNPLED0	■
	LED ステート : オン	SNPLED1	
	露出時間 (0 ~ 7,874, 単位 127 μ秒)	SNPEXP####	7,874
	ゲイン 無し	SNPGAN1	■
	ゲイン 中	SNPGAN2	
	ゲイン 大	SNPGAN4	
	ゲイン 最大	SNPGAN8	
	ターゲットホワイト値 (0 ~ 255)	SNPWHT###	125
	許容誤差 (0 ~ 255)	SNPDEL###	25
	アップデータリ回数 (0 ~ 10)	SNPTRY##	6
	ターゲットセットボルト (1 ~ 99)	SNPPCT##	50
IMGSHP	インフィニティフィルタ : オフ	IMGINFO	■
	インフィニティフィルタ : オン	IMGINF1	
	光沢補正 : オフ	IMGCOR0	■
	光沢補正 : オン	IMGCOR1	
	グレースケール : オン (8ビット/ピクセル)	IMGBPP8	■
	グレースケール : オフ (1ビット/ピクセル, 白黒)	IMGBPP1	
	エッジ フィルタ (0 ~ 23)	IMGEDG##	0
	ファイルフォーマット : JPEG	IMGFMT6	■
	ファイルフォーマット : KIM	IMGFMT0	
	ファイルフォーマット : TIFF バイナリ	IMGFMT1	
	ファイルフォーマット : TIFF バイナリ Grp4 圧縮	IMGFMT2	
	ファイルフォーマット : TIFF グレースケール	IMGFMT3	
	ファイルフォーマット : 非圧縮バイナリ	IMGFMT4	
	ファイルフォーマット : 非圧縮グレースケール	IMGFMT5	
	ファイルフォーマット : BMP	IMGFMT8	
	ヒストグラムストレッチ : オフ	IMGHIS0	■
	ヒストグラムストレッチ : オン	IMGHIS1	
	ノイズ除去 : オフ	IMGFSP0	■
	ノイズ除去 : オン	IMGFSP1	
	イメージ反転 : X 軸	IMGNVX1	
	イメージ反転 : Y 軸	IMGNVY1	
	イメージ回転 : 右 90°	IMGROT1	
	イメージ回転 : 右 180°	IMGROT2	
	イメージ回転 : 左 90°	IMGROT3	
	JPEG イメージ品質 (0 ~ 100)	IMGJQF##	50
	ガソル補正 (0 ~ 255)	IMGGAM##	0
	イメージトリミング 左座標 : (0 ~ 1279)	IMGWNL##	0
	イメージトリミング 右座標 : (0 ~ 1279)	IMGWNR##	各機種最大値
	イメージトリミング 上座標 (0 ~ 959)	IMGWNT##	0
	イメージトリミング 下座標 (0 ~ 959)	IMGWNB##	各機種最大値
	イメージトリミング マージン (0 ~ 238)	IMGMAR##	0
	プロトコル : 無し (生データ)	IMGXFR0	
	プロトコル : 無し	IMGXFR2	□ USB
	プロトコル : H-MODEM	IMGXFR3	
	プロトコル : H-MODEM 圧縮	IMGXFR4	□ RS232C

<u>IMGSHP</u>	ピクセル送信: 全ピクセル	IMGSUB1	■
	ピクセル送信: 2ピクセル毎	IMGSUB2	
	ピクセル送信: 3ピクセル毎	IMGSUB3	
	キストイメージ フィルタ (0 ~ 255)	IMGUSH###	0
	ヒストグラム送信 : オフ	IMGHST0	■
<u>その他</u>	ヒストグラム送信 : オン	IMGHST1	
	解像度: VGA モード	IMGVGA1	
	解像度: ネイティブ モード	IMGVGA0	■
	インテリゾントライサインキャプチャ: 最適化 有効	DECBND1	
	インテリゾントライサインキャプチャ: 最適化 有効	DECBND0	■

Blank page

A.1 コード ID 表

シンボル	AIM-ID	AIM モディファイア(m)	コード ID
全シンボル			(0x99)
オーストラリア郵便コード	JX0		A(0x41)
Aztec コード	Jzm	0-9, A-C	z(0x7A)
イギリス郵便コード	JX0		B(0x42)
カナダ郵便コード	JX0		C(0x43)
中国郵便コード	JX0		Q(0x51)
コードバーコード(NW7)	JFm	0-1	a(0x61)
コードブロック F	JOm	0-1,4-6	q(0x71)
コード 11	JH3		h(0x68)
コード 128	JCm	0-2,4	j(0x6A)
コード 16K	JKm	0-2,4	o(0x6F)
コード 32 ファーマ	JX0		<(0x3C)
コード 39	JAm	0-1,3-5,7	b(0x62)
コード 49	JTm	0-2,4	I(0x6C)
コード 93 & 93i	JGm	0-9, A-Z,a-m	i(0x69)
データマトリクス	Jdm	0-6	w(0x77)
JAN/EAN-13	JE0		d(0x64)
EAN-13 w/拡張クロスコード	JE3		d(0x64)
JAN/EAN-8	JE4		D(0x44)
GS1 シンボル リット	Jem	0-3	y(0x79)
GS1 Databar	Jem	0	y(0x79)
インターバル 25	JIm	0-1,3	e(0x65)
日本郵便コード(カスタマバーコード)	JX0		J(0x4A)
KIX 郵便コード	JX0		K(0x4B)
韓国郵便コード	JX0		? (0x3F)
マトリクス 25	JX0		m(0x6D)
マキシコード	JUm	0-3	x(0x78)
MICR E-13B	JZE		"(0x22)
マイクロ PDF417	JLm	3-5	R(0x52)
MSI	JMm	0	g(0x67)
OCR-A	Jo1		O(0x4F)
OCR-B	Jo2		O(0x4F)
OCR US Money フォント	Jo3		O(0x4F)
SEMI フォント	Jo3		O(0x4F)
PDF417	JLm	0-2	r(0x72)
Planet コード	JP0		L(0x4C)
Plessey コード	JP0		n(0x6E)
PosiCode	Jpm	0-2	W(0x57)
Postnet	JX0		P(0x50)
QR コード	JQm	0-6	s(0x73)
ストレート 25 IATA	JRm	0-1,3	f(0x66)
TLC39	JL2		T(0x54)
Telepen	JBm	0-2,4	t(0x74)
Trioptic コード	JX0		= (0x3D)
GS1-128	JC1		I(0x49)
UPC-A	JE0		c(0x63)
UPC-A アドオン/UPC-A w/拡張クロスコード	JE3		c(0x63)
UPC-E, UPC-E1	JE0		E(0x45)
UPC-E アドオン	JE3		E(0x45)
Veri コード	JX0		v(0x76)

A.2 キーボードコード対応表

ファンクションキー対応表 (AT, PS/2, DOS/V)								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	F11	SP	0	@	P	`	p	
1	Enter*	HOME	!	1	A	Q	a	q
2	CAPS LOCK	Print	"	2	B	R	b	r
3	ALT make	BS	#	3	C	S	c	s
4	ALT break	Back TAB	\$	4	D	T	d	t
5	CTRL make	F12	%	5	E	U	e	u
6	CTRL break	F1	&	6	F	V	f	v
7	Enter	F2	'	7	G	W	g	w
8		F3	(8	H	X	h	x
9	TAB	F4)	9	I	Y	i	y
A		F5	*	:	J	Z	j	z
B	TAB	F6	+	;	K	[k	{
C	DEL	F7	,	<	L	¥	l	
D	Enter	F8	-	=	M]	m	}
E	INS	F9	.	>	N	^	n	~
F	ESC	F10	/	?	O	_	o	

CTRL+ASCII 対応表 (AT, PS/2, DOS/V)								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	CTRL+@	CTRL+P	SP	0	@	P	`	p
1	CTRL+A	CTRL+Q	!	1	A	Q	a	q
2	CTRL+B	CTRL+R	"	2	B	R	b	r
3	CTRL+C	CTRL+S	#	3	C	S	c	s
4	CTRL+D	CTRL+T	\$	4	D	T	d	t
5	CTRL+E	CTRL+U	%	5	E	U	e	u
6	CTRL+F	CTRL+V	&	6	F	V	f	v
7	CTRL+G	CTRL+W	'	7	G	W	g	w
8	CTRL+H	CTRL+X	(8	H	X	h	x
9	CTRL+I	CTRL+Y)	9	I	Y	i	y
A	CTRL+J	CTRL+Z	*	:	J	Z	j	z
B	CTRL+K	CTRL+[+	;	K	[k	{
C	CTRL+L	CTRL+¥	,	<	L	¥	l	
D	CTRL+M	CTRL+]	-	=	M]	m	}
E	CTRL+N	CTRL+^	.	>	N	^	n	~
F	CTRL+O	CTRL+-	/	?	O	_	o	

- 太点線で囲まれた部分はファンクションキー及び CTRL+ASCII キーを意味します。
これらは一部の機種で正しく動作しない場合があります。
- CR*は、テキパッドの ENTER キーを意味します。

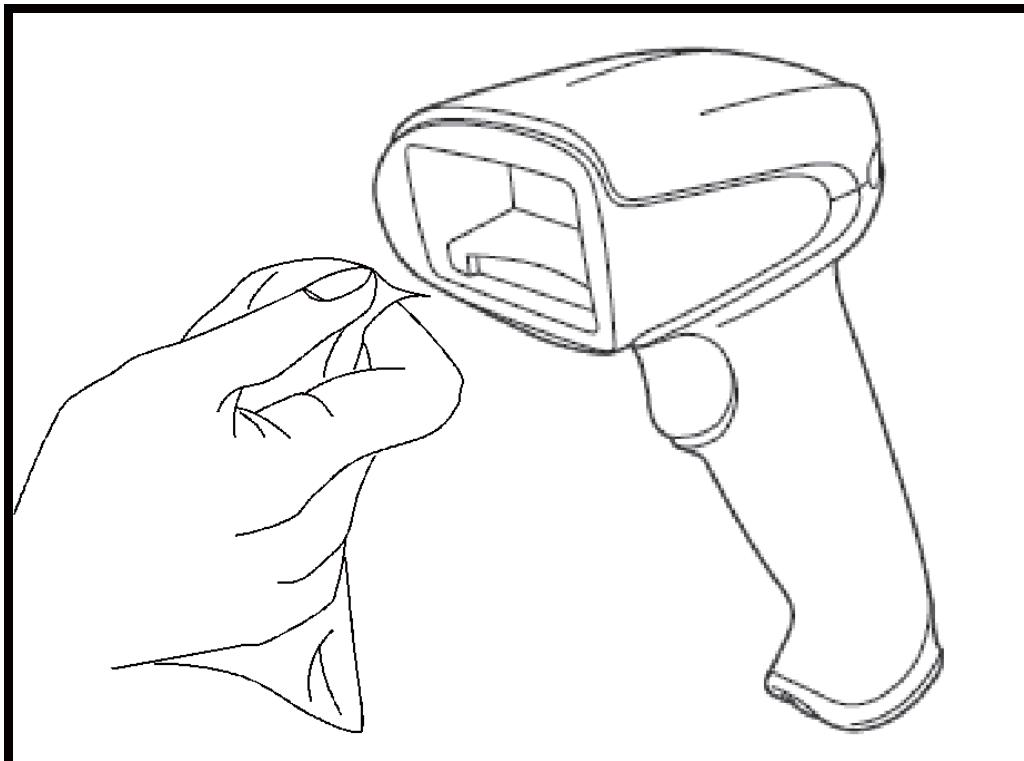
A.3 ASCII コード表

ASCII コード表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	｀	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	l
D	CR	GS	-	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE

A.4 メンテナンス

読み取り窓のクリーニング

イメージヤの読み取り窓が汚れていると、コードの読み取りに時間がかかったり、読めなくなる場合があります。定期的にアルコールなどを湿らせた柔らかい布で拭くようにしてください。



A.5 トラブルシューティング

電源が入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- AC アダプタ (RS232C タイプ) は正しく接続されていますか？
- PC の電源 (キーボード / USB タイプ) は入っていますか？

コード (バーコード・二次元コード・OCR フォント) を読み取らない

- 対象のコードの品質は悪くないですか？ 汚れたコード、劣化したリボンで印刷したコード、複写したコードなど、品質の悪いコードは読み取り不良や誤読の原因となりますので避けてください。
- 対象のコード種を読み取れるように設定していますか？
- チェックディットが付加されていないコードに対して、チェックディット有りと設定していませんか？
- 読み取り窓は汚れていませんか？

コード (バーコード・二次元コード・OCR フォント) を読み取りづらい

- 対象のコードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いコードは読み取り不良や誤読の原因となります。
- 読み取り窓は汚れていませんか？

PC にデータが入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- ワイヤレスイメージャとペーステーションのリンクは正しく確立されていますか？
- Bluetooth ドングルと正しく SPP 接続を確立できていますか？
- イメージャの設定は間違っていませんか？
本書「4.2 イメージャの簡単セットアップ」を参考にイメージャの再初期化を行った後、PC の電源を再立ち上げしてください。

症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

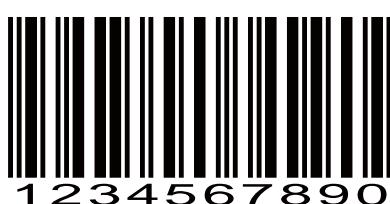
A.6 サンプルコード

サンプルバーコード / 二次元コード / 郵便コード / OCR フォント

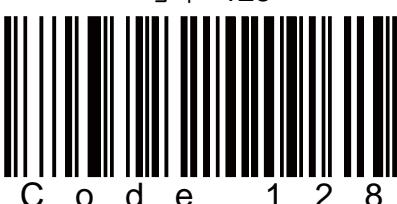
UPC-A



インターリブド 25



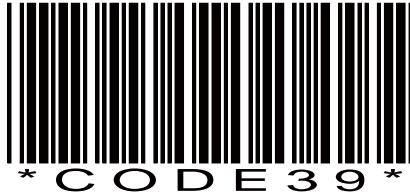
コード 128



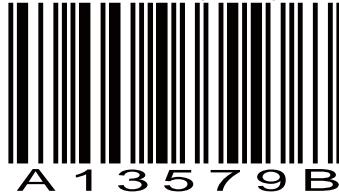
EAN/JAN-13



コード 39



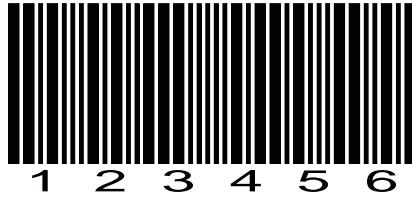
コード 11-(NW7)



コード 93



コード 25

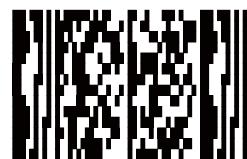


サンプルバーコード / 二次元コード / 郵便コード / OCR フォント

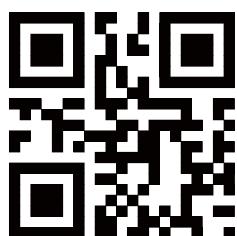
PDF417



マイクロ PDF



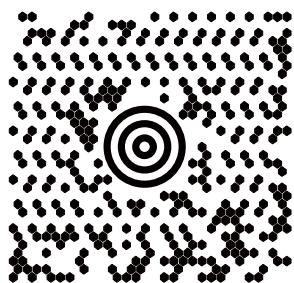
QR



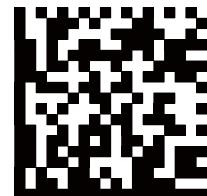
Aztec



マキシコード



データマトリクス



日本郵便コード (カスタマバーコード)



OCR-B フォント

ISBN4-8169-1489-7

OCR-B フォント

55836540

Blank page

修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てセド バック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書		
依頼日		
会社名		
部署名		
担当者		
メールアドレス		
電話番号	FAX番号	
ご住所		
販売店名	ご購入日	
製品型番（名称）		
製造番号（S/N）		
付属品	ケーブル[]・ACアダプタ	
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。		
症状発生頻度 : <input type="checkbox"/> 常に起こる <input type="checkbox"/> 1日に []回程度 インターフェイス : <input type="checkbox"/> キーボード <input type="checkbox"/> RS232C <input type="checkbox"/> USB <input type="checkbox"/> その他 [] 接続ホスト : メーカー [] 型番 []		
その他、使用状況を記入ください。		
返送先		
見積・請求先		
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。		ご確認印

拡大コピーしてお使いください